

## 「横浜市観光・MICE戦略（素案）」に関する 市民意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

「横浜市観光・MICE戦略（素案）」に関する市民意見募集（パブリックコメント）の実施結果及び本市の考え方をまとめました。貴重な御意見を賜りまして、誠にありがとうございました。

### 1 実施概要

#### (1) 意見募集期間

令和5年10月2日（月）～31日（火） 30日間

#### (2) 周知方法

ア パンフレットの配布（市民情報センター、区役所、行政サービスコーナー 等）

イ ホームページ、SNS（はまインフォ及びX（旧 Twitter）等）への掲載

ウ 広報よこはま（令和5年10月号）への掲載 等

### 2 実施結果

#### (1) 意見数

229名・団体、326件

#### (2) 意見内訳

ア 意見提出状況

受付方法	人数・団体数	割合
電子申請	37	16.2%
電子メール	188	82.1%
郵便	2	0.9%
FAX	1	0.4%
窓口	1	0.4%
合計	229	100.0%

イ 項目別意見数

項目	件数	割合
戦略全般	10	3.1%
基本理念	95	29.1%
戦略1	104	31.9%
戦略2	11	3.4%
戦略3	15	4.6%
戦略4	24	7.4%
2023～2025年度の取組事例	48	14.7%
その他	19	5.8%
合計	326	100.0%

(3) いただいた御意見への対応

対応分類	件数	割合
御意見の趣旨を踏まえ、修正するもの 【修正】	18	5.5%
素案に含まれているもの・賛同いただいたもの 【包含・賛同】	84	25.8%
今後の参考とさせていただくもの 【参考】	194	59.5%
その他の御意見・質問等 【その他】	30	9.2%
合計	326	100.0%

- ・別紙において、頂いた御意見と本市の考え方を記載しています。
- ・御意見の内容により分割して掲載しているほか、横浜市パブリックコメント実施要綱・運用方針に基づき要約等を行っている場合があります。

■横浜市観光・MICE戦略（素案）パブリックコメントで頂いた御意見と本市の考え方

・市民の皆様からいただいた御意見と本市の考え方及び原案策定に際しての対応分類を掲載しています。

・ご意見は内容により分割して掲載しているほか、横浜市パブリックコメント実施要項・運用指針に基づき、要約等を行っている場合があります。

別紙

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
1	戦略全般	政策目標は、横浜ならではの資源をつなぎ合わせ、新たな魅力づくりや高付加価値の観光コンテンツの創出に取り組むというものでありそこが私は大変魅力的な政策だと感じた。横浜市は国内有数の観光地であり、みなとみらい地区や中華街、赤レンガ倉庫など多くの有名な観光地があるにもかかわらずアジアや欧米豪諸国では約30%ほどと、海外ではまだまだ知られていないことが多くあるため、MICEと繋ぎ合わせながら政策をすれば、より認知も増え観光も盛んになるのではないかと考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
2	戦略全般	目指す姿は、市の観光業界を持続可能で魅力的なものにすることです。これは持続可能な観光プロモーションと質の高い観光体験を提供することを表しています。この目標に向けた基本姿勢として、環境への配慮、地元コミュニティとの協力や文化と歴史の尊重を目標としていくべきであると思います。持続可能な観光は、環境への負荷を最小限に抑えつつ、地元経済と文化を盛り上げていく。誘客ターゲットは、文化愛好者などの文化を好んでいる人や、環境についてよく考えている旅行者、地元の食や文化を楽しむ人々に目標を定めるべきだと思います。これらの旅行者が横浜市を訪れることで、持続可能な観光産業が促進されます。この目標を達成するための戦略は、観光プロモーションのデジタル化、持続可能な観光スポットの開発、地元産業の促進、観光業者との協力強化です。これらの戦略を通じて、市は魅力的で持続可能な観光地としての地位を強化し、地域経済と文化に貢献できます。2023~2025年度の取組事例としては、持続可能な観光スポットの設計や地元産業のサポートプログラムの具体的な実施例を示し、これらが目標達成に向けた成功例であることを大きく見せていくべきだと考えています。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
3	戦略全般	全体を貫くのは、随所に「横浜らしさ」「横浜ならではの」を強調するが、実態は市内でもほぼ「都心臨海部」に限定した思想。「都心臨海部」を中心にした施策。わずかに取り上げる郊外部があったとしても、「新横浜（地域）」「上瀬谷通信基地跡地(周辺)」くらい。両者は横浜における郊外部の代表ではない。 横浜市が本「素案」で、市内外の資源を集中投下しようとしているのは、「都心臨海部」の一点のみだ。ここさえ潤えば、その他郊外部は“トリクルダウン”を期待して待つだけ、ということ。「都心臨海部」のさらなる観光・MICE推進の必要性は認める。であるからこうした「素案」まで策定して、市外・県外・国外へと打って出るのであろう。だからといって、郊外部は、「都心臨海部」のおこぼれが降り落ちるのを待っているだけでは仕方がない。むしろ郊外部にこそ市全体のバックアップが必要なのではないか。 本「素案」では、数箇所で「コンパクト」や「コンパクトシティ」について言及している。市が目指す「観光・MICE」の真の姿は、「観光版コンパクトシティ」なのではないか。「コンパクトシティ」と「トリクルダウン」は相性がいいだろう。 IR=カジノ誘致とん挫の煮え湯を飲まされ、再起、「山下ふ頭再開発」を進めているのは「港湾局」。この港湾局は、多めに見積もっても市内沿岸6区を管轄するのみ。したがって全神経を港湾部=「都心臨海部」に集中させるのは、むしろ当然。しかし本件「観光・MICE」を統括するのは「にぎわいスポーツ文化局」。市内全域を網羅すべしにぎわいスポーツ文化局が何ゆえ、「都心臨海部」にだけ、力を注ぐのか。もっと全市に目を向けるべきである。	参考	本戦略は、横浜市全域を対象に、観光・MICEの取組の方向性を示しています。御意見の趣旨も参考に、地域ならではの観光資源を生かしながら、市内各所と連動した魅力づくりを進めます。
4	戦略全般	「観光・MICE」におけるマイナス面=オーバーツーリズム問題への対応をSDGs（P39）に埋没させてしまっている。観光地に人が集まり過ぎて渋滞の発生、ゴミの散乱（不分別）・マナー違反の頻発、観光が地域住民生活に負の影響をもたらす。地元住民の生活（食品・物品購入、通勤通学・公共交通の利用しづらさと、旅行者のデカクジャマなバッグ/カート、写真撮影、（観光客が求める）モノからコトへの移行によるトラブル）、一般の住宅に旅行者を宿泊させる「民泊」などなど――地域への負担が重くなっている。本件への対策をしっかりと示してもらいたい。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後の取組を進めていきます。
5	戦略全般	クルーズ船入港のように、一時期に/一気に/短期間に、大量の旅行者が来訪した時の対応が重要だろう。ただ右から左に「次の市外観光地」へ出て行くのを指をくわえて見送ることなく、横浜市内で最強・最速の移動手段である自転車（レンタル自転車は現状の3桁倍に増輪）を最大限活用し、来訪者を可能な限り長時間滞在させ（宿泊なら尚可）、立寄り箇所数（P44）を増やし巡ってもらえるよう、市内各方面（同自転車の整備、観光拠点マップの作成/自転車用ナビ、ICT活用案内板(柱)の設置、当該受入れ駐輪施設の整備、同自転車の返却・受取り等）と共働を強化すべきであろう。当然であるが、出港前の乗船客の行動にも細心の配慮をすべきである。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後の取組を進めていきます。
6	戦略全般	観光とは、観光（ここでは、横浜の観光）を消費するのは、大半が当該地域に暮らす人以外の人（22年度国内客の62%、それにインバウンドが加わる P44）である。一方、観光を供給するのは、大半が当該地域に暮らす人（横浜の「内」）である（当該地域に暮らす人がすべて、観光の業に従事し来訪者にサービスを提供するわけではないが）。来訪者=観光客は横浜に興味・魅力を感じ、横浜を選択し、実際横浜に来訪する。来訪し見聞きし、感じ、経験して、満足とともに、横浜でしか得られない何かを得て帰っていく。これが「横浜らしさ」「横浜ならではの」なのかもしれない。であるならば、横浜の歴史を否定し文化を解体しかねない「害毒」をわざわざ横浜の「外」から持込むなど愚の骨頂。まさにカジノが、これに当たる。カジノは論外である。もちろん、「内」「外」にこだわらず、横浜と融合し親和性が高いものであればウエルカムである。ちなみに、中華街が横浜の「内」であることはいまさら説明するまでもあるまい。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後の取組を進めていきます。
7	戦略全般	「宿泊客の平均宿泊数が1.3泊」（P44）という悲惨な結果は、横浜市内全域に少なからず観光資源が存在するにもかかわらず、横浜来訪者（宿泊客）がほぼ素通りしているということ意味する。横浜市内に存在する機関（横浜市観光協会=横浜観光コンベンション・ビューロー）が、「都心臨海部」ばかりに注力し過ぎるあまり、（市全体の観光需要を満たす）本来の役割を果たしていないからであろう。横浜では、DMO自身が「都心臨海部」の“魅力”に溺れ、市内他所（郊外部等）への配慮・目配りを欠いた（欠いている）結果ではないのだろうか。	参考	御意見の趣旨も参考に、DMOが地域のけん引役となり、市全域の観光・MICEを推進していきます。
8	戦略全般	横浜観光の現状分析がない中で、本戦略がまとめられていることで、現状肯定を前提とした戦略となっていると感じる。	参考	御意見の趣旨も踏まえ、Webページに横浜観光の現状を掲載します。
9	戦略全般	本戦略において、主語が明確ではない。特に市の役割として、「どのような財源措置をして」「何を」「いつまでに」実施していくのかについて言及されていないため、この戦略を成果に繋げることができるかが疑問である。	参考	御意見の趣旨も参考に、各事業項目については年度毎の事業計画にて検討していきます。
10	戦略全般	総花的な戦略と感じ、ワクワク感を感じない。観光をどうとらえるのか、ポイントを絞っていくべき。例えば、ホスピタリティ産業というような核になる概念があると良い。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
11	基本理念	「目指す姿」が「基本姿勢」と同じ「市民と共に創り、世界から選ばれるアーバンリゾート」なのは不適当。「目指す姿」は「世界から選ばれるアーバンリゾート」とし、「市民と共に創り、」は「基本姿勢」の中に盛り込むべき。	参考	御意見を踏まえ、「基本姿勢」の表現を修正しました。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
12	基本理念	私は、横浜には中華街・みなとみらい・色々な食といった観光、海外の方から人気の食文化といった魅力があるため戦略といった部分では、海外からも認められるものがあり、もっとこの文化を広げるためには観光できること以外に横浜という市をアピールできるところがあると考えました。それは、観光・食文化のみならず、人の良さといったところがあるので、目指す姿としては、色々な国の人がわかりやすいマップを作ったり、宣伝できる広告など日本語だけでなく色々な言語を使うことで、日本の良さをわかってもらえと考えました。また、日本では海外の方向けの食はあまり見かけないと思っています。そのため、中華街のように、色々な方の口に合う食べもの提供やフェスといったものを実行することで形や姿が変わっていくのではないかと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
13	基本理念	横浜市は歴史や文化、自然、音楽、スポーツ、イベントや企業・研究機関、大規模施設など様々な魅力が凝縮しています。なので、横浜でしか体験することの出来ないことを横浜の事業者や地域の方と共に新たな賑わいを創出できるといった。多様な文化を受け入れてきたものを生かしていくことで世界に魅力を伝えることができると感じた。横浜市以外に住んでいる方や観光客の方や世界の方たちの意見を聞いていくことで横浜市の魅力が発信することが出来ていくと思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。なお、観光客からの御意見は、旅行者満足度を調査する中で注視していきます。
14	基本理念	横浜市の様々な魅力を理解した上で、横浜市でしか体験できない価値を住民を含めた地域全体で創り上げていくという地域協働政策というものを、横浜市だけでなく多くの地域で取り入れていくべきだと思った。事業者だけのごく一部の意見だけでは市民の満足度というものも上がっては行かず、市民だからこその魅力というものをさらに磨いたり、新たな魅力を市民も一緒に発掘してはじめて横浜市が出来上がると思う。横浜でいえば、「世界から認められているアーバンリゾート」という点、川崎市でいえば、「環境技術を世界へ発信」などというように、その市独自のイメージを地域全体で創り上げることが、今後生き残っていく地域になるのだと思う。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
15	基本理念	私は目指す姿に対して、横浜市は多様性あふれる魅力のあるまちづくりやグローバル都市としての競争力の強化などを挙げているが、横浜市は東京都からも近く交通の便も発達しており世界中からさまざまなクルーズ船が寄港したり、海外との海運や航空での輸送の中心地となる都市であると考えているためグローバルでの競争力の強化や多様性溢れるまちづくりを行うことは多様性が重要視されている世界の流れに乗ることにより海外から横浜の存在感を示し、物流の拠点として今以上に海外との交流が増え結果的に他の戦略を達成することになると考えたためこの案に賛成する。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
16	基本理念	私は大学生になってから横浜に住み始めた。私は地方出身で横浜市がずっと憧れだったので大学進学をきっかけに横浜市に住んでいる。地方に住んでいた私からして横浜市のみとみらいは横浜市でしか体験できないと感じている。写真映える場所がたくさんあり、SNS映える場所だとすごく思った。そして今年Kアリーナという世界最大級の音楽に特化したアリーナが誕生した。横浜市はすでに世界から選ばれるアーバンリゾートだと思う。これからもみなとみらいを中心に横浜市ならではの良さを出して欲しいと思った。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
17	基本理念	横浜が目指す姿として横浜港を栄えさせることは必要であると考えた。現在の横浜の課題である観光地としての横浜というのはいはり横浜港を観光名所として栄えさせることが必要であると考えた。その理由として発着場であるところを栄えさせることにより他の地に行ってしまう人を少しでも横浜で楽しんでもらえる可能性が増えるからである。またこれを解決することにより横浜が素通りされる問題やどこの県に属しているかなどの問題も解決すると考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
18	基本理念	私の横浜市の目指す姿に対する意見としては歴史や文化、様々な分野のイベントといった横浜らしい多様な魅力を残しつつ、持続可能な社会を目指し、脱炭素等、環境に配慮したまちづくりをしている点が良い点だと思います。また、世界の人々が交流するビジネスやイノベーションの拠点でありながら、都会にいながら非日常の体験やアーバンリゾートを目指しているとうことは仕事の場でもプライベートの場でも充実した時間を過ごすことの出来るまちづくりを目指しているのではないかと思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
19	基本理念	横浜市は目的とするような特徴が少ないと感じています。認知度のランキングで上位の街は、その町に関連づける特徴的な建物やテーマパーク、グルメもしくはリゾートや地域特徴が他にはないものを持っているなどがあります。例えばピカチュウがみなとみらいを今年歩いてきたように世界的人気のあるキャラクターを使ってみなとみらいの近くでの会場パレードなどを行い一時的な季節だけでいいので観光客に印象付けるなどの取組が良いのではないかと考えました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
20	基本理念	横浜市の「目指す姿」として挙げられている「市民と共に創り、世界から選ばれるアーバンリゾート」を知り、歴史や文化、開放的なウォーターフロント、花・緑、音楽、スポーツなど、多くの取組で横浜市の魅力を伝え、人気のある都市であると感じ、十分に目指す姿の目標に達しているといえる。また、横浜駅周辺やみなとみらいをよく訪れるが、誘客ターゲットにもあるように、まちを歩いていて、外国人観光客や子連れの家族、10～20代程の若者が多く訪れていると感じた。しかし、実際の体感では、若者よりもお年寄りを見かけるのは少ないように感じた。そのため、若者に人気のある都市であるといえるが、高齢者から見た横浜市は利用しやすい、あるいは住みやすいまちなのだろうかと少し疑問にも感じた。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現の一部を修正しました。
21	基本理念	私が考えた横浜市の「横浜市観光・MICE戦略」の目指すべき姿は、世界から見ても日本の一番楽しい街は横浜であるという姿です。基本姿勢は横浜と東京との差別化を行い、横浜だけで満足し、楽しんでもらえるような街になることです。誘客ターゲットは横浜に用事のある横浜市以外の全ての人です。目指すべき姿の実現に向けた戦略の1つ目は、イベントとホテルが提携するということです。横浜市には沢山のホテルがあります。ですが、首都圏から横浜のイベントに参加しようと思えば観光客は横浜には宿泊せずに帰ります。そこで音楽やスポーツなど様々なイベントとホテルが連携し、そのイベントのチケットなどを提示すればホテルの宿泊料を割引するというキャンペーンです。2つ目はイベントと飲食店が連携するということです。ホテルと同様イベントのチケット割りキャンペーンを飲食店でも行うのが2つ目です。3つ目は交通機関とイベントが連携するということです。横浜のイベントにせっかく来ていただいた観光客がいてもイベント会場から横浜の観光地が遠ければ行き気が起きないと思います。そのため鉄道会社、バス会社などがそのイベントのチケットなどを提示したら乗り放題券が安くなるなどのキャンペーンは必要だと思いました。4つ目はSNSを使用するということです。ハッシュタグでそのイベントのタグと共に横浜観光している写真を投稿したら抽選で景品が当たるなどのキャンペーンを行うということが4つ目のキャンペーンです。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
22	基本理念	横浜は私は普段住み慣れていてあまり観光スポットとしては利用することがなくただ友達と遊んだりすることでしか利用しなくてもいいけれど県外の人などはアクセス環境もよく行きやすい観光場所がたくさんあるため環境や持続可能な環境に配慮することはとても重要なことであると思いました。横浜は様々な人が利用し、愛されている町だから、これからは時代にあった発展が必要になるし、より暮らしやすい街づくりもしなければならぬから市民の人たちと協力して創りあげていくことはとても大切なことだと思いました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
23	基本理念	これらは横浜市が多様な魅力を活かし、地域経済と観光産業を発展させ、持続可能な都市を築くビジョンを示している。この戦略は素晴らしいもので、市民と事業者が共に参加し、地域社会を強化するための重要なステップである。横浜の多様な魅力を結びつけ、特有の価値を創造するアプローチは素晴らしいし、都市の一体感を高め、地域の誇りを育むと感じた。また、環境への配慮やデジタル技術の活用を通じて、持続可能性と快適な都市を両立させる姿勢は素晴らしいものだと思う。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
24	基本理念	横浜には、赤レンガ倉庫や日本丸などの歴史的建造物により、歴史や文化に触れることができたり、万葉倶楽部やコスモワールドなどの遊べる施設の他にも多くの施設があり、観光地として賑わうには十分な設備が揃っている。また、外国人や国内の観光客としての人気だけでなく、住みやすい街ランキングでは上位であり、住民からも人気である。ビルの多いオフィス街や都心へのアクセスもいいことも人気の1つであろう。建造物だけではなく、少し離れれば、海の公園や水族館、動物園などの自然や生き物たちとも触れ合うことができ、まさにアーバンリゾートであると感じた。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
25	基本理念	私は目指す姿である「市民と共に創り、世界から選ばれるアーバンリゾート」は素晴らしいと思いました。横浜には昔から伝わる歴史や文化、またたくさん観光スポットやレジャー施設があります。そして横浜市近くには海が、電車で少し乗れば自然があります。こんなに色んなものを兼ね備えている場所は中々ありません。田舎には田舎の良さが、都会には都会の良さが、それを生かすも殺すも、すべてはそこに住む者達の意思や行動によって変化します。なので、市民と共に創りという目標は素晴らしい、それを実行し続けることで必然と、世界から選ばれるアーバンリゾートになるのだと思いました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
26	基本理念	横浜でしか体験できない価値を創り出すというのは素晴らしいことだと思いますが、様々な分野に手を出してしまっただけでゆえに全部中途半端なものになってしまう可能性が大いにあると思いました。既に何か一つに特化しているところには勝てないと思いますので、そこを明確な差をつけたいと思います。またそのような大規模な施設を建てる場所があるのか、ということも気になりました。環境等に配慮をするなら、新たに開拓するということはないと思いますので、どうするか気になりました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
27	基本理念	横浜ならではのストーリー性を重視したところはたくさんあり、我々のいる関内周辺でもとても感じます。中華街などは、アジアの料理や文化を感じさせるような建物などがあり、観光客にとって異文化をとても感じられて非日常を楽しめてとても多様性ある、楽しみ方ができると思います。また横浜は昔ながらの建造物を残しているのでもって歴史を感じさせる工夫が埋め込まれていると思います。そのような取組によって観光客を惹きつけてより魅力的な横浜になっていると思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。引き続き、施策を推進していきます。
28	基本理念	横浜では電柱が地中に埋まっているため、見晴らしがよかったり、日本初の都市循環型ロープウェイなどがあって都市と自然を満喫することが可能である。しかし、グローバルブランドホテルやビルなどが一箇所に集中しており、圧迫感があり、十分に景色を楽しむことが可能でないと考えている。また、横浜駅や桜木町などの周辺以外は、電柱が多く、道路も狭いため他の町の魅力が目立っていないように感じる。しかし、相模原に行けば自然を満喫しながらパークウェイが楽しめたり、鎌倉市に行けば由比ヶ浜海水浴場があったりして、他の県の人でも観光できる場所であるから充実した横浜にしたいと考えた。	参考	ご意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
29	基本理念	横浜の観光地としての認知度が低いことがとても意外でした。私自身、都会的な雰囲気と海が隣り合わせにあるのに、お互いお互いをうまく引き立てあって調和している横浜の雰囲気がとても好きで、魅力的なところだと感じているので、「世界から選ばれるアーバンリゾート」という表現は、横浜の魅力を表すのに的確なものだと感じました。観光客にとって、様々な施設や目当ての風景が何か所にまとまっていることはとてもありがたいことだと思います。そのような魅力的なポイントを活かした目指す姿なので、実現できると考えます。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
30	基本理念	目標として掲げられた「横浜市を日本有数の観光・MICE都市にする」は、非常に重要で野心的な目標です。これは、地域経済の活性化、雇用の増加、地域の魅力向上につながるものであり、横浜市にとって重要な課題です。この目標を実現するためには、様々な取組が必要です。例えば、観光資源の開発、イベントの拡充、国際的な会議や展示会の誘致、交通・宿泊施設の整備などが含まれます。また、地元コミュニティとの協力や持続可能な観光の推進も重要です。この目標の達成に向けた努力は、地域の発展に大いに寄与すると考えます。横浜市はその独自の歴史や文化、風景を持ち、これを活かして観光・MICEの拠点としての地位を築くべきです。同時に、訪れる人々にとっても魅力的な体験を提供し、長期的な成功を追求するべきです。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
31	基本理念	横浜は世界に誇れる魅力ある都市で、宿泊施設数も増えてきておりますので、「連泊滞在型アーバンリゾートシティ」を掲げて「横浜に連泊して、横浜市内だけでなく、神奈川全域、東京、鎌倉、富士山、箱根等々も観光する」ようなことを目指していけば、観光客数や滞在時間も増えていき、横浜経済の活性化にも繋がるのではないかと考えております。	包含・賛同	御賛同いただき、ありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
32	基本理念	人を呼び込むことが目的なら前提としてインフラ整備が最も結果を左右すると思います。当然莫大な費用がかかりますが計画だけでも上げておかないと企業や投資などがついてこないと思います。具体的にはつい先日決定した瀬谷通信所跡地開発にも関わります地下鉄グリーンラインの延伸計画の実現です。この素案としては二俣川、東戸塚、上大岡、根岸、元町中華街となっておりますが、誘客ターゲットにある大型クルーズ船は着岸が大黒埠頭と最近は見受けられますが横浜・みなとみらい地区への移動が困難なので大黒埠頭方面への延伸も候補に挙げてみて、それをバブコメする、ということだけでも効果は期待できます。中山、ズーシア北門、瀬谷通信所、以下同じで根岸から本牧、大黒、鶴見、日吉での循環線。そうなるも俄然注目度があります。期待値の上昇が実現への近道ではないでしょうか。検討していただくことを期待します。	参考	ご意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
33	基本理念	ハコモロありきの観光推進は時代遅れである。あえて、にぎわいを創出しない姿勢を示すべき。人が集まるだけが、活性化ではない。特に、上瀬谷の再開発はテーマパークなど誘致せず、今ある残された自然を最大限に生かす農業体験やグランピングなどが好ましい。環境を見初めてスローライフを目的とし移住する時代。首都圏から流出するフェーズを食い止めるには格好の自然が残されている。人の手で作られた物にありふれたまちづくりは何れ飽きられるのが関の山。横浜市は空洞化を招くビルやハコモロをいかに減建てるのを止める。	参考	国際園芸博覧会をひとつの機会と捉え、観光振興を図ってきます。また、開催後も郊外部の新たな活性化拠点として、魅力の向上を図ります。
34	基本理念	横浜は、昔から、人生の節目や大切な機会に訪れる街です。そうしたアニバーサリーを狙った特別なプランなどをもっと充実させると、首都圏からの来訪が増え、リピーターにもなっていくのではないかと考えます。多くの方に横浜が記憶に残る大切な街になってほしいです。	包含・賛同	御賛同いただき、ありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
35	基本理念	「市民と共に創り、世界から選ばれるアーバンリゾート」何が世界から選ばれるというのか？歴史ある建造物を壊し、お金儲けのためのビルを作るのでしょうか？同じような建物を作り、緑もない、小さな空が見えるだけのまち。現在の桜木町駅辺りがまさにそうです。つまらない駅周辺の景色です。なんの特徴もない街、横浜。	参考	横浜の多様性あふれる魅力をつなぎ合わせ、都会にいながら非日常の高揚感のある体験や、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめるアーバンリゾートを目指します。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
36	基本理念	目標がわかりません。カタカナだらけの説明文。横浜の歴史のある物を守り、維持することを考えているのか？	参考	横浜の多様性あふれる魅力をつなぎ合わせ、都会にいながら非日常の高揚感のある体験や、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめるアーバンリゾートを目指します。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
37	基本理念	現在、瀬谷区の上瀬谷跡地で花博をやるために桜を伐採して、自然が破壊されています。第一に、どのくらい市民、区民がこのことを知っているのか？知らせる努力をどれだけしているのか？一部の議員の強引な力と、どこからかのお金で動いているように思える。マスコミまで丸め込まれているように思える。花博後のエキスポ？はそれ以上に自然を破壊し、花を持ってきて植えて、そして人が来なくなったらそのまま。目に見えるようです。歴史のある土地、地域を壊すことが、許されるのか？横浜に残っている自然をどうして壊すのか？しかもこんなに広い原っぱを。子どもたちはこの原っぱで想像力を発揮して色んな遊びができる。虫、花、風、川、魚を触ったり、可愛がったりして、楽しい思い出になるし、次の代へ伝えていけるのにはと思います。一部の人の考えでこの原っぱをどうしてしまっただけでいいのでしょうか？大人たちの傲慢さを感じます。	参考	国際園芸博覧会をひとつの機会と捉え、観光振興を図ってきます。また、開催後も郊外部の新たな活性化拠点として、魅力の向上を図るとともに、市民生活と調和した観光・MICEの実現につなげていきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
38	基本理念	<p>「市民が横浜を誇り住み続けたい」となるようなまちづくりとあるけれど、そのためには観光MICE開発よりも、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めて欲しい。具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デリ弁ではない自校式給食のある市立中学</li> <li>・道路管理、公園管理が今より適切に予算を使い、きれいになる横浜市</li> <li>・人口減に併せ、狭い道路でも通れるコミュニティバスを市営で運用</li> <li>・赤ちゃんから老人まで安心して暮らせる税金無駄遣いしない横浜市</li> </ul> <p>いくら観光地を整備しても、住み続けたいためには子育て世帯と老人世帯に安心して暮らせる環境が必要。観光地整備と「住み続けたい横浜市」は矛盾しないか？人がいない地域の開発は、例えば山下ふ頭開発は行うべきであろう。しかし、関内に超高層ビルを建てるとか、広大な自然が残る上瀬谷をコンクリートで埋め立てるなどは、愚策と考える。今からでも関内開発と旧上瀬谷通信施設開発は見直すべき。自然を壊して行う花博などをもってのほか。花博に間に合わせるために、海軍道路桜並木は全伐採されると聞いたが、言語道断。今ある自然を残し生かし、手を加えず、テーマが決まっていないテーマパークなど設置せず、税金は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デリ弁ではない自校式給食のある市立中学</li> <li>・道路管理、公園管理が今より適切に予算を使いきれいになる横浜市</li> <li>・人口減に併せ、狭い道路でも通れるコミュニティバスを市営で運用</li> <li>・赤ちゃんから老人まで安心して暮らせる税金無駄遣いしない横浜市</li> </ul> <p>のために使って欲しい。</p> <p>レシ活の無駄遣いを反省し、公共・インフラの維持に努めて欲しい。中学給食がなく、図書館が一区にひとつしかなく、児童館がなく、差別禁止条例もない横浜市で、子育てしたり暮らすのは、魅力に欠ける。企業にお金をあげるための政策はもう止めて。今暮らす市民の満足度を上げるような政策を。</p>	参考	人口減少・少子高齢化が進む中、横浜市が将来にわたって発展し続けるためには、観光・MICEの振興により、人を呼び込み、にぎわいを創出し、横浜経済を活性化させることが重要です。市民の皆様は観光・MICEの振興が横浜市の発展に寄与していると実感できるように、取り組んでいきます。また、いただきました個別の政策に関する御意見につきましては関係部署にも共有します。
39	基本理念	均整の整った都市景観デザインや交通環境の向上。化石燃料に依存しないジェネレーターの整備、水素燃料を基本とした都市交通の整備、水素バス・水素ライトレールの整備。米国シアトルを例として、通年で国際的なイベントを開催する企画の実施。英語対応が可能を基本とする観光ガイドの配置。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
40	基本理念	古き街並みを保全しながら（歴史的建造物を取り壊さず）、かつ最先端の技術を取り入れ、「横浜」ブランドをPRできる街づくりを目指してほしい。そのために、いわゆる「生活感」の強いファーストブランドの取入れ等に関しては慎重に行なってほしい。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
41	基本理念	観光客の集客を上げたとして、国内に向けてなのか、海外の客をターゲットにしているのか、富裕層に向けてなのか、あらゆる世代あらゆる人に向けてなのかで、計画そのものが違ってくる。横浜市の考え方はボヤケていてはつきりしない。横浜の歴史は幕末、開国からで、長崎と同じように西洋化の先進地域である。日本で初めてのモノが多い。ただし、それらのものは日本人にとって継承すべき点であり、外国人にとっては当たり前の姿でしかない。日本人、修学旅行等の集客を目指して、とことん幕末からの歴史を伝える街にすべきではないか？カジノは中止になったが、スポーツベッティング（スポーツ賭博）等の賭け事の街で海外からの集客を目指すのはやめて欲しい。日本の歴史を体験しに来ることもたちのために健全な街であるべきであると思う。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
42	基本理念	なるべくカタカナ英語を使用せず、日本語でわかりやすく説明してほしいです。アーバンリゾート、ウォーターフロント、大規模コンベンション施設、グローバルブランドホテル、ビジネス・インベーション拠点、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめるアーバンリゾートといった言葉をカタカナ英語を使用せずに日本語で説明して、意味をわかりやすくしてほしいです。	修正	御意見の趣旨を踏まえて、用語解説に掲載している言葉については、本文に*印をつけました。
43	基本理念	「世界から選ばれるアーバンリゾート」「世界から選ばれる持続可能な都市」とのキャッチコピーは、IR=カジノ誘致の精神的支柱であった『横浜市都心臨海部再生マスタープラン』（本「素案」の位置付け・目標年次 関連計画 P-2）が目指す、「世界が注目し、横浜が目的地となる新しい都心」と寸分違わぬ思想性を有している。	その他	本戦略は、本市の各計画と連携を図り、推進します。横浜の多様性あふれる魅力をつなぎ合わせ、都会にいながら非日常感の高揚感のある体験や、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめるアーバンリゾートを目指します。なお、本戦略は本市の各計画と連携を図り、推進します。
44	基本理念	ここで言う「市民」とは、「観光・MICEを支える人」「横浜に関わる多様な“ひと”」（P3）のことであり、横浜に住み/営業し/働く市民のことではないようだ。	その他	目指す姿の実現に向け、観光・MICEを支える人材や横浜ファンなど横浜に関わる多様なひと創りを長期的な観点のひとつとしながら、市内事業者や市民とともに取り組みます。
45	基本理念	「目指す姿」に示される事例は、「観光」客、「MICE」のうちアフターコンベンションやせいぜい「I」「E」が主目的の客には、「非日常の高揚感のある体験や、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめる」のであろう。だが残りの「M」「C」客への配慮はどうなる。	その他	「M」「C」等で来訪される方にも「世界の人が交流するビジネス・インベーション拠点であり、また都会にいながら非日常の高揚感のある体験や、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめるアーバンリゾート」となるように、目指す姿の実現に向け取り組んでいきます。
46	基本理念	アーバンリゾートの定義が人によって異なる。日本国内では「横浜=アーバンリゾート」という感覚は強いが、国外の感覚では響かないかもしれない。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
47	基本理念	外国人観光客に野球などの人気が高いことを考えると、食やエンターテインメント、体験型の観光といった点を重視すべきである。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、食について、誘客ターゲットに明記しました。
48	基本理念	「基本姿勢」が「目指す姿」と同じ「市民と共に創り、世界から選ばれるアーバンリゾート」なのは不適当。「市民と共に創り、」は「基本姿勢」の中に盛り込み、「目指す姿」は「世界から選ばれるアーバンリゾート」とすべき。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
49	基本理念	mamaroの設置はぜひ市として推進いただきたい。現在設置されているエリアには少々偏りがあり、各区や施設ごとの取組にすぎないが、交通網が入り組んでいる横浜市では各スポットにインフラとしてペーパークールームが整備されることで真の子育てしやすい街づくりにつながるのではないかと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
50	基本理念	3つの創るの中に「人を創る」とあるが、この姿勢はとても成功していると感じる。私は選挙管理委員会の方々と選挙に関する啓発活動をしている。活動の中で地元の子ども達と関わる機会が多々あり、小さなうちから子どもに選挙に興味を持ってもらえるよう活動しているが、夏のイベントでは沢山の子どもが来場してくれ、上記の「人を創る」という基本姿勢の一部は徐々に出来てきていると考える。まだまだこのような活動に参加していきたいと考えているため、より一層この横浜市の基本姿勢の一助になれば良いと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。引き続き、本戦略に基づき、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
51	基本理念	重視する視点のところに横浜ならではの独自性を作り出し多様性のあるまちを作ると記述してあったが、それこそまさに一年前くらいに断念した横浜にカジノを作るという計画がびったりだと私は考える。日本に借金滞納者を増やしてしまうという心配は理解できるが、横浜という町を盛り上げ後々の人口を増やしていくという意味で挑戦すべきだと私は考える。 なお経済性という意味でもカジノは非常に効果的である。というものもカジノができたとき、カジノほど社会に金をもたらす場所は日本にはないだろう。 ギャンブルというのは依存性があり長い期間金を搾り取れるため、そのお金で町を強化し続けることができる。つまりカジノは持続性のある街づくりにもってこいの案である。	その他	横浜市におけるIR誘致については、令和3年9月10日に撤回を宣言しました。誘致決定に至る市の意思決定の経過や検討内容等について「横浜IRの誘致に係る取組の振り返り」としてとりまとめ、令和4年9月に公開しました。
52	基本理念	新たな観光税の創設など、税収対策も同時に進めるべきではないか。	参考	今後、御意見の趣旨も参考に、本戦略にもとづき、多様な財源の検討を行っていきます。
53	基本理念	横浜市に圧倒的に欠けているのは、訪れた人へのおもてなしです。 例えばKアリーナの評判についてはリサーチされているでしょうか。トイレが少ないため近隣施設を利用する人が多く、使用禁止のお達しが出ています。公演後のトイレ利用を禁じているためです。また会場からの動線についても多くの不満の声をX他で拝見しました。イベントでにぎわい創出は結構ですが、訪れた方々の顧客満足度を上げなくては、その前後の観光に繋がりません。また顧客満足度が高ければ、イベントがなくともリピーターを生みます。 もちろん運営側の手配に問題はあるかと思いますが、長期的観点で述べている「しくみを創る」において、基準を設けるというのは含まれないでしょうか？ 例えば、参加予測人数に対しての設備数や、最寄り駅への動線の確保（警察等への申請を含む）といったインフラの一定の基準を横浜市独自に設けて建物建設の許可を出す。もう既にある建物で問題のある箇所では、動線となる道沿いに、災害時に活用出来るベンチやトイレを配置し、人々が休憩出来る空間を増やす。 各地のイベント会場では、会場周辺に休憩可能な（待機時間を過ごせるような）休憩箇所がいくつかありました。正直、横浜の日産スタジアム、横浜アリーナ、びあアリーナなどに比べておもてなし度で言えば高かったです。 例えば日産スタジアムなど、7万人の方が訪れたコンサートでしたが、待っている間は少しでも涼しい場所を求めて座り込む難民キャンプのような状態でした。スペースはあるのに座って休めるところがほぼ皆無。敷物必須の状態でした。 同じ市内であるにも関わらず、移動と待機で疲労困憊となり、とても近隣店舗で飲食とはなりません。時間に余裕があれば近隣の観光も考えますが、それには「イベント会場への動線」が大きく影響します。最寄り駅へのスムーズな動線や交通手段を確保出来ていなければ、その余裕は生まれません。 仮に余裕がなかったとしても、気持ち良く行き来することが出来れば、改めて観光だけに来ようとなるはずです。 持続可能な取組として、リピーターを生み出すためにはインフラ整備は大変重要なポイントです。 横浜市の取組は残念ながらそのインフラ整備に力を入れていると思えません。新しい建物が出来て、いきなり不平不満ばかりが巻き起こるなど、おもてなしの気持ちを持ったインフラ整備をしていなければいけないことです。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。また、いただきました個別の政策に関する御意見につきましては、関係部署にも共有します。
54	基本理念	国際園芸博覧会では、最寄り駅からシャトルバスなど検討されているとのことですが、参加見込み人数があまりにもどんぶり勘定で驚きました。 お金を注ぎ込んで何かを作れば良いというものではありません。 魅力的なコンテンツがあっても、おもてなしに欠けていれば「もう二度と横浜には行かない」となるのです。（という声も聞いています） 私は好きなアーティストに会うという、これ以上ない魅力的なコンテンツのために多少のことは我慢しますが、花博にそれがあるとは思えず、インフラ整備もままならない状況も鑑みて、「二度と横浜には行かない」という方ににぎわいを創出してしまうのではないかと危惧します。 規模の縮小を含めた計画の見直しをご検討ください。	その他	直接、事業そのもの本戦略に関する内容ではありませんが、御意見として受け止め、関係部署へ情報共有します。
55	基本理念	ここ数年の開発事業を見ると、ハコモノを作れば良い、高層ビルを建てれば良いとなっているが、果たしてそれで街作りになっているのだろうか？先日完成したKアリーナを例とすると、この建物を設計した人はどなたか存じ上げないが、少なくともアリーナの近く居住するわけでもなく、アリーナを利用するわけでもない。そのため、出来上がったアリーナはトイレの数が不足しており、また、帰宅時の動線がまったく考えていないことにより、アリーナのイベントが終わった後の混乱は尋常ではない。アリーナをただ建てれば良いのではなく、利用者や近隣の人々の生活も考えた上でのハコモノだけでなく総合的に街を設計すべきであると思う。	参考	現在、動線の確保等、周辺地域の環境整備についても進めています。今後も観光・MICEとまちづくりを両輪で推進し、滞在したくなるまちづくりを進めるとともに、市民生活と調和した観光・MICEの実現を目指していきます。
56	基本理念	目標を消費額にすることに賛成です。消費しない観光客は自治体にとってコストでしかないのでこの方針はブレないようにして欲しいです。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
57	基本理念	観光消費額を伸ばす必要があり、横浜全てで観光消費額を伸ばすために1人1人の平均消費額を上げていく必要があると思う。1人1人の消費額が少しでも多くなれば少ない額でも多くの人が消費することによって莫大な額に増えることは間違いないと思う。そのためには観光の質をさらに上げてその分値段も高くすることで持続可能な観光につながる。その分人件費なども上げ、より責任感を持たせる必要があり給料に見合ったサービスができるよう教育も徹底していくべきだと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
58	基本理念	<p>私は、素案中の「目指す姿」において、地名や国名を具体的な目標として掲げることが必要だと考える。</p> <p>この素案には横浜市がMICEを通じて今後目指していく姿が記載されている。そこには、観光業の興隆を重点にした要素がまとめられていた。加えて、単なる観光事業にとどまらず、世界情勢に鑑みて持続可能な社会を意識した取組も盛り込まれており、先進国としての資質を備えた素案といえる。しかし、私はこの素案が具体性を欠いていると考えた。特に、素案中の「目指す姿」において具体性を欠くことは、素案段階であることを考慮しても得策ではないと考える。なぜなら、具体的な目標が定められていない場合、取組に対する意欲を醸成することが困難だからである。例えば、マラソンという競技には42.195kmという大変長い距離が設定されているが、例年多くの人が参加する人気スポーツになっている。では、マラソンに距離の設定がなければいったい誰がこの競技に参加するのか。むしろ、ゴールのないマラソンは競技として破綻しており、参加する意義を失っている。つまり、長期かつ大規模な計画ほど、市民の協力を得るためには具体的な目標設定が欠かせないといえる。加えて、PDF資料:「横浜市観光・MICE戦略(素案)」のp57(PDF自体のページ)に記載されている市民意識のデータを見ると、MICEが横浜市の発展に寄与していると考えている割合は約40%にとどまっている。このデータから推察すると、MICEに具体的な目標が定まっていないことで、MICEがもたらしている効果と横浜市の発展に乖離が生じてしまい、MICEが寄与していないという結果になったといえる。さらに、同データには「どちらとも言えない」という層がほかのどのデータよりも多く含まれている。このことから、MICEが目標設定と現実性を欠いているため、市民側の実感が薄いのだといえる。以上の点から、具体的な目標を掲げない場合、市民の協働意欲を醸成することができず、行政がおよそ独断専行する形で戦略を実施する形式になってしまうといえる。無論、この戦略には市民とともに創っていく旨が記載されているため、市民と行政の間に溝ができてしまっは本末転倒である。とりわけ、観光公害の側面を考慮すれば、市民と協働することは不可欠であるといえる。だからこそ、具体的な目標設定をすることが、市民と観光MICE戦略を実施する上で欠かせないと考えた。</p> <p>具体的な地名の例としてはシンガポールを挙げる。なぜなら、シンガポールは観光と経済が一体化しており、環境面でも両者ともに豊かな海洋を持っているため、現在の横浜と類似点を多く持っているからだ。また、人口や観光収入はシンガポールに軍配が上がるものの、横浜の将来像として位置付けるならば闇雲に計画を実行するよりも高い効果が得られると考える。加えて、シンガポールは自然とも一体化しており、持続可能な社会の一端を担っているといえる。このことから、SDGsに敏感な外国人観光客をターゲットにしている横浜市にとって、きわめて模範的な都市である。実際に、シンガポールを目標として設定するならば、その国で行っている観光推進事業は大きな経験値になる。さらに、シンガポールの目を引くような数々の建築物は、既にいくつかの象徴的なビルを持つ横浜市にとって新たなシンボルの参考となりえる。また、シンガポールの良い面だけでなく失敗した点や改善点も得られる。以上の例を考慮すると、具体的な目標を設定することは市民意識の醸成に加えて、事業実施における注意点や改善点を発見することに資する。このような点も含めて、私はMICE戦略を実施する上で具体的な地名や国名を掲げることを提案する。</p>	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
59	基本理念	<p>2030年には観光消費額を目標値5,000億円に伸ばす。と定められているが、具体的にこの数値を達成するためには2011~2019年の5か年平均と比較して、宿泊者を150万人・日帰りの観光客を600万人近く増加させることが求められていることが分かる。</p> <p>データ集に記載の「市内主要ホテルの平均稼働率」には、5か年平均にも含まれる2018・2019年のデータが示されているが、いずれも稼働率が9割に迫る勢いということが読み取ることができるため、観光・MICEの推進のみを進めれば、“宿泊希望者はいるが提供するホテルがない”という状況に陥り、結果的な観光消費額の増加幅は狭いと考えられる。</p> <p>目標の一文目には、『市内経済を活性化するためには、観光・MICEの推進により、観光消費額を伸ばす必要があります。』とあるが、上述を踏まえると、観光・MICEの推進だけではなく、パシフィコ横浜を中心とした横浜市の高い収容力を活かすための、一般観光客・多数のMICE参加者の滞在先も増やすべきだと考える。</p>	参考	新規ホテルの開業も予定されています。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
60	基本理念	<p>私は目標についての部分で観光消費額を増やすという部分が大事になってくると感じました。横浜市内には沢山の場所から様々な人が訪れていることでもあるので外からのお客さんにも経済を回すことに協力してもらうのはありだと思います。子供が遊べるような場所を増やしてみたり、一日いても飽きないような施設を今よりもさらに増やしてみたり、また横浜にはサッカーチームや、野球チームが本拠地として活動しているのもあるのでそういったチームのファンの方にも楽しみながら喜んでお金を使ってもらえるようにしたら観光消費額も上がっていくのではないかと思います。</p>	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
61	基本理念	<p>横浜市の特徴は、みなとみらい、赤レンガ倉庫などをはじめとした観光地が豊富であるという点である。これらの観光地を横浜の目玉として、Instagramなどに掲載し、広く周知させることで、結果として観光客数が増え観光消費額を上昇させる事に繋がると考えられる。しかしながら現時点で、旅行者満足度の数値も約90%と、決して低い数値ではないと考える。つまり、既に観光都市としての実績は得られていると予想できる。したがって、今よりも視点を変えて観光客を増やす必要があると考える。それは、歴史の視点など様々である。一捻り加えることで更に横浜のポテンシャルを向上させられると考えている。</p>	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
62	基本理念	<p>①コロナ前まで観光消費額が増加基調だったこと ②都心臨海部を中心に観光施設が続々とオープンしている（今後もする予定が複数ある）こと ③観光消費が高い層を誘客ターゲットにしていること ④物価が上昇基調にあること</p> <p>以上のことを踏まえると、2030年に5,000億円という目標は低すぎると思います。劣せずして達成できそうでキリの良い数字を掲げているように感じました。</p>	その他	中期計画の目標値である2025年の観光消費額4,026億円を達成した上で、初の5,000億円を目指す目標としました。
63	基本理念	<p>横浜観光の目標として、観光消費額を5000億円へ引き上げることが掲げられているが、他都市との比較がないことや、5000億円にほどこまでの消費額が入っているのか（飲食・小売・宿泊等）がわかりにくいので、5000億円という数字の意味合いが理解できない。</p>	修正	御意見の趣旨を踏まえ、消費額に含まれる費目を追記しました。
64	基本理念	<p>5000億円という数字は、あまりに低い目標。現状に比べると目標値は低すぎて誰もその目標に向かうと思わない。横浜市は政令都市の中でも観光が弱いという印象であり、他都市のベンチマークをおくべきである。</p>	その他	中期計画の目標値である2025年の観光消費額4,026億円を達成した上で、初の5,000億円を目指す目標としました。なお、他都市との比較については、同一条件で実施した調査データがないため、困難な状況です。
65	基本理念	<p>宿泊の目標人数について、単位として「人」が用いられているが、「人泊」を用いることが適切だと思う。</p>	その他	横浜市観光動態消費動向調査において、宿泊者数は実人数で公表しているため人表記としています。
66	基本理念	<p>横浜市が観光業の誘客ターゲットを“観光消費が高い層”に設定することには、いくつかのメリットが考えられる。収益の最大化、経済的恩恵、ブランド向上、持続可能な観光業の発展など、高収入層をターゲットにすることで質の高いサービスと施設を提供するためのリソースを確保しやすくなる。これらは観光業の成長と地域経済への貢献につながる可能性があるが、バランスを取るためには地元の住民や中所得層にもアクセス可能な観光施設やサービスを提供することも重要であると考えられる。</p>	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。



No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
67	基本理念	誘客ターゲットは国内外の観光消費が高い層としており、そこに挙げられている横浜の観光資源や強みと合致する層、MICEの参加者、クルーズ客これら3つは観光消費が高くそして国内外の客層が多いと考えられる。これらの誘客はインバウンド効果もあり、とても横浜経済の活性化に役立つと感じるが、国内の誘客が主になるものが子育てファミリー層の一つしか無いことが不安に感じた。インバウンド効果による経済効果は素晴らしいが、そこに依存した経済戦略は危ないということは近年のコロナによる影響で痛いほど日本国全体が感じたと思うので、誘客ターゲットとしてはもっと国内の誘客が欲しいと感じる。そこが増えてくるとインバウンド効果が仮に得られなくなってきた時の保険としてあることで安心できるMICE全体の戦略基本になると思われる。	参考	誘客ターゲット4つについては、全て国内外問わず観光消費が高い層を設定しています。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
68	基本理念	観光消費が高い層として、「横浜の観光資源や強みと合致する層」や「子育てファミリー層」をターゲットとするのは非常に良いと感じた。臨海エリアには、中華街やアンパンマン子どもミュージアム、原鉄道模型博物館などファミリー層が楽しみやすい施設が多くある。また、スポーツ観戦に注目すると横浜スタジアムや日産スタジアムがあり、音楽イベントで考えると横浜アリーナやZepp yokohama、びあアリーナMMなどがある。スポーツや音楽のイベントを開催できる施設が多くあるということは、それだけ観光にも繋げられるということであるため、アプローチを行いやすいと感じた。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
69	基本理念	最近ではコロナ禍が終わり始めて観光する人も増えてきたため、家族層をターゲットにするのは良いと感じた。子供には小さい頃から色々な経験をさせようと考えてる親が多く、横浜の遊園地や博物館をPRするのが良いと考える。最近ではスポーツも盛んであり、年齢関係なく自分でもやろうと考えている人が増えてきているため、ターゲットにするのは一番良いのでは無いかと感じた。個人的には、観光客も「せっかくの機会だから」と観光消費額が多いのではないかと感じるため、そこもターゲットにするのも良いと考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
70	基本理念	横浜の特長に合致した4つの誘客ターゲットはどれも素晴らしいと思った。横浜は様々な目的で訪れる人々を受け入れ、心を掴む施設や観光資源を有しており、それらは枚挙にいとまがない。歴史的な観光地として赤レンガ倉庫や中華街、外国人墓場などがあり、スポーツや音楽などの文化的なイベントでは横浜スタジアムやベイウォークマーケット、国際会議などで訪れる人々にはグランドインターコンチネンタルホテルやロイヤルパークホテルなど、家族連れにはみなとみらい。これほどに様々な施設が凝縮された場所は日本中、世界中でも横浜市くらいではないかと思う。様々な層を受け入れることのできる施設がこれだけ揃っている横浜市であれば、多様性に溢れた、世界から選ばれるアーバンリゾートになると考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
71	基本理念	横浜はとても大きい街で、既に交流人口や観光収入、定住人口が多いイメージがありましたが、まだまだ他県の人や海外の人からは、観光地としての認識度が低いというのが意外でした。私たちが普段、横浜に遊びに行ったり、通学をしていても海外の人は少なく、地元の人が多い気がします。車のナンバーも横浜ナンバーが多いので、神奈川や東京の人が休みの日に遊びに来る場所というイメージは確かにあります。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
72	基本理念	誘客ターゲットを4つ設定し、それぞれに合わせたアプローチを行う上で、それぞれのアプローチを考えることはとても大切であると同時に、とても難しいことであると思いました。ここで挙げられている国内外の観光消費が高い層にアプローチを行うことができれば、より一層横浜市の魅力が日本のみならず世界に伝わりと同時に、経済的にも発展し、競争と共に、人材の充実なども起こるのでは無いかと思いました。そして、これらを行うためにはターゲット層が求めているものを把握することが大切であると思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
73	基本理念	私は誘客ターゲットを選ぶ。人口減少、少子高齢化が進む中、横浜市が将来にわたって発展し続けるためには、観光・MICEの振興により、人を呼び込み、にぎわいを創り出し、横浜経済を活性化させることが重要であると考えます。そのために、誘客ターゲットを選択した理由は誘客ターゲットを絞ることで誰が対象かわかればそのターゲット層に向けて観光に目をつけることができると考えた。その他にも観光地自体の認知拡大も欠かせません。歴史的建造物や文化遺産、名物料理などをアピールして、観光地自体の魅力も広く認知させることができるのではないかと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
74	基本理念	横浜市は日本有数の観光地であり、商業施設、動物園、水族館、テーマパーク、スポーツ施設、自然と、現在あるものだけでも十分に誘客できると思うが、大学生の自分からしては、横浜市には大学や専門学校が多く存在していることから10代後半から20代前半の若い人向けの施設を多くすればもっと誘客できるのではないかと。現在、みなとみらいが若者の街として存在しているが、横浜の中心である横浜駅周辺にも若者向けの施設を作れば、他の市や県から長期休暇中に暇を持て余した大学生や専門学校生が、わざわざ横浜駅経由でみなとみらいまでいかなくても「横浜駅でもいじゃん」というようになると思う。「そごう」や「高島屋」といったデパートは、あまり若い子たちは行かないのは事実であると思う。自分は静岡県出身だが、静岡県の学生はどこか遊びに行くとなったら大体横浜なので、そういう近隣の若者を誘客ターゲットに入れるのもありだと感じた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
75	基本理念	目標でもある通り、市内経済を活性化させる上で観光消費額が大きく影響をもたらすため、必要不可欠な要素であることは間違いない。コロナの流行も収まりをみせ、国内からの観光客だけでなく、海外からの観光客も前年に比べ、増加しているという統計が国土交通省によって出されている。円安の影響もあり、海外からの観光客が増加している今、いかに横浜市に呼び寄せることができるかが、国内観光客と同様に重要なターゲットの一つとして抑えるべきだと当素案をみて考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
76	基本理念	横浜市観光・MICE戦略(素案)の4つ目の誘客ターゲットについてですが、赤レンガ倉庫や横浜港などを見に行く層・横浜中華街や横浜スタジアムへ訪れる層などがそれぞれ異なってきます。また、みなとみらいがあったり水族館があったり子ども連れの層などもターゲットとして考えられます。観光地やグルメに合わせてターゲット層も今以上に増やすべきであり、もっと増やすことができると思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
77	基本理念	誘客ターゲットについて、私は外国人、主に中国人の方々に重きを置いて誘客を行うのがいいと思います。なぜなら中国の経済成長はめざましく、近年中国人観光客による「爆買い」が問題となる時期もありました。その理由は日本製品の品質の良さ故だと私は考えます。またその品質の高いもの赤レンガなどの観光地で販売することが出来ればさらなる誘客効果を期待することができ横浜という地域の活性化及び経済的な成長を見込めると思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
78	基本理念	まず、横浜市の観光地としての認知度はまだまだ低いので、当たり前ですが横浜に観光に来る人を増やす必要があると思います。国内、インバウンド共に、横浜には歴史的なものから、SNS映えるものまで揃っているため、観光ターゲットをひとつの世代に絞るのではなく、広くそれぞれの好みを活かしたものを展開していければいいと思います。今現状どれも中途半端になってしまっているため、歴史的な赤レンガ倉庫や帆船日本丸を年配の方や海外からの家族などが来やすいようにし、日本の横浜で話題のスイーツのようなものを海外の広告会社に流せば海外の若い観光客も来ると考えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
79	基本理念	関内キャンパスに通学する私連生が、「横浜市の観光地は?」と聞かれたのならば、横浜赤レンガ倉庫や中華街をはじめとした観光地や、よこはまコスモワールド、フォレストアドベンチャーといった家族連れの方も楽しめるようなアミューズメントパークを答えるだろうと思う。しかし、観光地としての横浜の認知度は東京や大阪といった大都市と比べても低く、訪日する外国人旅行者の意向調査では全体としてみると約3割なのが現状である。そこで私は横浜の観光地をもっとより多くの外国人旅行者に知ってもらうために誘客ターゲットに力を入れるべきだと考えた。また、観光消費が高い層を狙うという試みの中でも、特にMICEの参加者たちに横浜の観光地の魅力を知ってもらうことで、より多くの情報を広めてもらうことを狙いにいきたい。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
80	基本理念	私は、誘客ターゲットに合わせたアプローチをすることは、観光客を増やす上では、何個かにターゲット絞るほうが、リピート率も上がるので効率がいいと考える。横浜には、横浜アリーナや最近完成したKアリーナなどの音楽施設や、横浜スタジアムや日産スタジアムなどのスポーツ施設も多くある。そのため、大型施設に合わせたイベントなどを開催すれば、より多くの観光客を集めることができると感じたので、誘客ターゲットとして一番通じていると感じた。そして、消費も多いため、誘客ターゲットとして適していると感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
81	基本理念	横浜の観光資源や強みを合致する層や、クルーズ客は強みだと思いますが、今の日本社会の経済面を考えて子育てファミリー層やMICE参加者などはあまり利用しないと思います。その理由は、子育てファミリー層はこれからの子育てのことや日本の経済事情に絡んでもあまり消費をしないと考えたからです。MICE参加者は、会議や仕事目的で来るのがほとんどなので、観光消費はあまり期待できないと考えました。	参考	子育てファミリー層は大人数で来訪されることや一度ファンになると長く繰り返し来訪されることなど、また、MICE参加者は宿泊・飲食・前後での観光での効果を見込み、設定しています。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
82	基本理念	誘客ターゲットについて、私は非常に効率的だと思いました。観光消費が高い層にターゲットとして設定し、それぞれのターゲットに対して適切なアプローチをすることで、更なる消費の向上を狙うことが出来ると考えると、ターゲットを絞らずに進めていくよりも効率的だと考えられます。しかし、ターゲットが満足して再度横浜を訪れる際に友人等を連れてくるのが考えられます。それによって犯罪行為が発生する可能性も考えられます。そのため、ターゲットを設定する上で、どの層にターゲットを設定するかはよく考えるべきだと思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
83	基本理念	まず一つ目は、「横浜の観光資源や強みと合致する層」について、具体性が低いのではという意見だ。なぜならば、そう言ってしまうとこの地域でも言えることだと考えたからだ。確かにその下に音楽、スポーツ、歴史、文化、癒しや非日常を求める層と細かく挙げているが、こんなにも挙げてしまうと、逆に多くの地域に当てはまり、横浜である理由がなくなると考えた。したがって、この層はもう少し具体性を持たせ、絞った方が良いと考える。 次に二つ目は、「子育てファミリー層」についてだ。現状は日帰り客が多いとなっている。つまりは近くから来る人が多いと考えられ、遠くから来る人を呼び込む取組が必要だと考える。しかしながら、子育てファミリー層は小さい子どもがいるため近くに住んでいる人が多いだろう。したがって、この層をターゲットにしたら、何も変わらないのではと考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
84	基本理念	私は中国人留学生で、日本に留学してくる前に日本を旅行したことがある。その時に、日本の有名な都市を思い浮かべてみたが、やはり皆さん最初に思い浮かんでいたのは東京で、そして大阪、京都、北海道であった。横浜って聞いたら、やはり知らない人が多かった。現在、私自身は横浜に住み、毎日横浜の魅力を感じている。私は1点目のアジアの国々の来日リピーターをターゲットに誘客プロモーションを強化する、という点について、とても良いと思っている。来日リピーターでは仕事のためによく両国を行ったり来たりする人たちでも、日本の文化や景色が好きな人たちでも、何らかの要因で必ず日本に来て滞在する。横浜は関東の東京や関西の大阪、京都と比べて、確かにそんなに優れているわけではない。商業化は東京と差があり、歴史的な文化は京都との差もある。港があっても、来日旅行者では普通に買い物や経験者から伝えられた有名な観光スポット以外には、わざと横浜に来て、みなどみらいの方に行く人はなかなかいないと思っている。このような来日リピーターをターゲットとして彼らに横浜を宣伝すれば、横浜の知名度をある程度上げることができる。また、自分の国に帰って、周りの友達や同僚に横浜の良さを伝えてもらえれば、まずより多くの人に横浜というところのイメージを残すことができ、さらに伝えられた人がネットで調べ、「あっ、横浜が東京の隣にあり、東京に行ったら、横浜の素晴らしい景色も見に行こう」という考えを持つようになるのだろう。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
85	基本理念	横浜は、観光地としての認知度が高い県と比べて外国の文化とくにアメリカからの文化が入り乱れた特殊な県であると私は思う。認知度が高い県は、日本特有の文化がたくさん点しているためそれを求めて観光客がたくさんやってくるのだと私は思う。例えば、京都であつたらたくさん神社や寺がありそれは日本以外ではあまり見ない文化や建造物であるため外国人観光客はそれらを楽しみに見に来ているのだと思う。しかし、それらをつくらうとしても多くの時間と費用がかかるためあまり得策ではないと考える。そこで目をつけるべきなのが誘客ターゲットの一部である国際会議や医学会議参加者を多くするというのはとても良い考えだと思う。それらを横浜特長であるグローバルブランドホテルやラグジュアリーリゾートで開き、映像などで配信することによって、外国の方が日本よりもそういった話題に敏感な性格を利用し横浜の素晴らしさを少しずつでも広めることができるのではないかと考えた。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
86	基本理念	観光消費が高い層を横浜市に取り込むにはクルーズ船に乗ってくる客が一番お金を落としてくれるため、クルーズ船の代金と目的地で使うお金両方を使う外国の客などを取り込むのが一番いいと考える。インバウンドのような課題もたくさん出てくると思うが、日本人客と比べて外国から来るお客さんに対しては利用料金を上げるなどすることで、改善されると思う。そのためには観光費用が高い層にはそれぞれに合ったサービスを提供しなければならないと感じる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
87	基本理念	資料の中では、観光消費が高い層に目を向けすぎなのではないかと私は思う。そこに目を向けすぎないで横浜にあるものは東京にもあり、更には横浜よりも良い場所が揃っている。観光消費の高い層の人たちは、何が良いサービスなのかや良い場所なのか、様々な場所でサービスを受けているのでわかる。だから今は観光消費の少ない人たちに対してアプローチを進める必要があると私は感じる。誘客ターゲットはあらかじめグループに対してなので、独身の人たちが増えている中で、そのようなアプローチは利益の右肩下がりになりかねないと思ったからである。横浜という街には、街特有のもの他の街より抜きん出たものというものが私にはあまりないと思うので、「横浜」という名前のブランドなしでも人が寄ってくるような魅力がなければいけない。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
88	基本理念	私は横浜市民ではないので訪問者の一人として意見を述べたいと思います。誘客ターゲットを拝見して感じたことを4つのターゲットに合わせて意見を述べたいと思います。一つ目は「横浜の観光資源や強みと合致する層」です。素案p.5やp.54などに記載されている文章を読んで感じたことは、そもそも横浜の強みは何?と感じました。例えばp.54に書かれている「歴史や文化芸術などの知識を深めることを旅行に求める層」を狙うとしても、何時代を推していくのか、または横浜の歴史そのものを推していくのか具体的にしていく必要があると感じました。ざっくりばらんに歴史や文化を推すになると歴史・文化で集客している奈良県や京都府、鎌倉市などと比較され集客数は少ないと思いました。二つ目は「MICE参加者」です。これに関しては良案だと思いました。パンフイコ横浜やびあアリーナなど様々なイベントや会議が出来る場所が多くあり、複数日間開催されるので消費単価も上がるのではないかと思います。三つ目は「子育てファミリー層」です。これに関しては少し厳しいと感じました。理由としてはレポート向上がうまくいかないと思ったからです。p.11に記載されていた「体験させたい・学ばせたい」に充てる、企業博物館、文化施設等の集積を生かし、体験型メニューの拡充等により、子育てファミリー層の満足度の高い魅力の向上を図ります。]の部分で「体験させたい・学ばせたい」が疑問に感じました。私が思う子育てファミリーのレポートは子育て中の親御さん達が旅行しやすいなどの環境によるものに加えて、子供がまた行きたいなどの子供からの要望が必要だと思います。しかし、私は「体験させたい・学ばせたい」が保護者目線での望みであって子供たちの望みではないと思いました。このままだと子供が行きたがらないため別の場所に行ってしまう子育てファミリーが多いと考えます。そこで私は「体験させたい・学ばせたい」に加えて「楽しい・ワクワクしたい」といった子供目線での望みも必要だと思います。四つ目は「クルーズ客」です。これに関しては一番集客への実行がしやすいと感じました。私は、クルーズ客が出航の時間まで横浜市内を回っていると感じていました。しかし、実際にはバスなどに乗ってくるので素通りされていることに驚きました。そういった人たちを引き込むことが出来れば大きな消費単価になると思います。	修正	御意見を踏まえ、表現を一部修正しました。
89	基本理念	私自身も大学になってから初めて横浜に来て、初めは観光客と同じ気持ちで大学生活をしていました。そこでみなとみらいや横浜の中華街などに行った際、クルーズ船や赤レンガ倉庫のグリーンルームのフェスなど、横浜の強みを活かして誘客ターゲットを若者から幅広い層で明確に企画やイベントを行っていて、目指すべきものは実現できているように感じる。そして、海外からの観光客もコロナ禍があけて、増加している、これからも増える見込みだと思っているので、誘客ターゲットの再認識をしていく必要があるのではないかと感じる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
90	基本理念	私は、誘客ターゲットをもっと明確にするといいと考えました。なぜならターゲットが決まらずに戦略などをするとその地域の交流人口にはなりますが、関係人口や定住人口に繋がらないと思ったからです。そして、特定のターゲットを作ることによって今まで出来ていなかった集客増やそこから広がる情報の拡散によって横浜市の観光が見直されて、東京のように多種多様な観光客が訪れる場になると考えました。さらに、ターゲットを固定することによって意見が全く変わるため、年齢層などで意見を貰うとより良い案が見つかるのではないかと考えました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
91	基本理念	私は、横浜市での観光消費が高い層として、横浜の観光資源や強みと合致する層、MICE参加者、子育てファミリー層、クルーズ客のターゲットを4つに設定していることは非常に良いことだと思います。理由は、私が関内や桜木町を歩いているときに、よく見かけるのが、国内外問わずの旅行者、子育てファミリー層であるからです。また、横浜市には、夜景スポットや観光スポットが多いという強みがあり、全国から多くの旅行者が来るので誘客ターゲットを4つに設定したことは、横浜市の目指す姿に繋がると思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
92	基本理念	横浜市が誘客ターゲットを明確にし、それに合った魅力的なプログラムや施設を提供することで、観光客やMICEイベントの参加者を引き寄せることができると思います。特定の国や地域からの観光客をターゲットにする場合、その国や地域の文化や需要に合ったプログラムやサービスを提供することが重要です。また、MICEイベントの場合、業界や分野に特化したイベントを開催し、関連する専門家や参加者を招聘することです。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
93	基本理念	横浜の観光資源や強みと合致する層とMICE客は、それぞれにリーチできる媒体や好む体験が異なると思うので、それぞれに戦略を考えていく必要があるように考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
94	基本理念	横浜市は「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」と中期計画に組み込まれています。今回の誘客ターゲットの中に「子育てファミリー層」があります。ただそれは、子供たち目線での案ではありません。連れて行く大人側の案や意見であり、子供達が自ら「やってみたい」「見てみたい」「行ってみたい」と思えるような案を盛り込んでみてはいかがでしょうか。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
95	基本理念	誘客ターゲットは、観光消費の多い層と理解しています。富裕層が観光消費の多い層と考えますが、4分類のどこに富裕層が含まれるのかわかりません。注書きでも構わないので、富裕層の明記が必要ではないでしょうか。	その他	本戦略での誘客ターゲットは、富裕層ではなく、観光への消費が高い層としています。
96	基本理念	私は以下の3の観点から鹿児島(か宮崎)と山下埠頭を結ぶフェリーの就航とこのフェリーターミナルにRVパークの設置を提案します。その観点は第一に2024年問題のひとつの解決法として物流に貢献できると考えられること。第二にモーターシップとして脱炭素社会をめざすことができること。そして第三に誘客ターゲットである子育てファミリーのエコツーリングの手立てとなることです。(「市民からの提案」にも投稿しました)	参考	山下埠頭については本戦略とは別に、これまでにいただいた御意見や御提案を踏まえ、新たな事業計画策定に向け、山下埠頭再開発検討委員会にてまちづくりの方向性や導入機能などについて検討を進めています。今回いただいた御意見は、事業計画案の策定に向けて、本市での参考とさせていただきます。
97	基本理念	訪問経験者の再訪を促す(7割が首都圏からなので)	包含・賛同	誘客プロモーションの強化により、横浜ファンを増加させ、リピート率を高めています。
98	基本理念	誘客ターゲットとして4つ誘客客層を設定する。 ・横浜の観光資源や強みと合致する層 ・MICE参加者 ・子育てファミリー層 ・クルーズ客を想定。 「消費が高い層」=富裕層が狙いどころ。ならば逆からいえば、「消費の低いヤツ」はお断り、ということ。「消費の低いヤツ」とは学生、若年労働者…。本来、「消費の低いヤツ」でも、安心して安価で楽しめる街・横浜こそ、アピールしてヨコハマ・ファンを増やしていくべきであろう。 本「素案」は、横浜はそれを選択しない、と宣言したことになる。日本人お得意の、決まりきったシステム/ルールに従い、ワキにそれることのない、無難な“人種”で、しかも(これが大事)“カネを落とす”層だけの来浜を期待。これで、何が、何処が「進取の気性に富んだ」横浜か。実態が重要だ。コトバだけでは誰も信用しない。信用しなければ当該者だけでなく、本来、目的とする「ターゲット」さえ二の足を踏む。	その他	観光・MICEの推進により、観光消費を拡大し、市内経済を活性化していくため、国内外の観光消費が高い層としたうえで、横浜の特長に合致する4つの層を設定しました。
99	基本理念	「美味しいものを食べたい」「可愛いものが欲しい」「買い物をしたい」「綺麗なトイレを使いたい」など、女性に優しいまちへの取組が必要。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
100	基本理念	インバウンド消費の恩恵を全くと言ってよほど受けていない横浜観光の現状への言及がないため、「誘客ターゲット」などにおいてインバウンドへの取組の強化という視点が弱いと感じる。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
101	基本理念	食の視点を盛り込むべき。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
102	基本理念	スポーツを観光の一つの柱とすべきではないか。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
103	基本理念	私は今大学のために横浜で一人暮らしをしているので横浜在住ではありませんが、横浜出身ではないため、その立場から意見すると、最近ではKアリーナなど横浜市は音楽ライブ会場が多く、実際それがきっかけで横浜市に来ている遠方の友達も身近にいます。しかし地元の友達も遊びに泊まりに来ると、遊ぶのはほとんど東京です。東京は話題のグルメとか有名なお店が集まっているので、東京に行きます。なので横浜市がグルメの発信地になっていけばもっと観光客増加が見込めるのではないかと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
104	基本理念	古き良きものを大切に新しいものを取り入れる 住んでいて良かった・また来たいと思える街 横浜らしさを楽しめるイベント・サブライズを！	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
105	基本理念	・産業道路、大島中学校付近から間門・根岸・磯子にかけて、従来の海岸線の内陸と海側が分断されています。 ・みなとみらい・山下公園地区だけではなく、本牧ふ頭以南の沿岸部にかけて、横浜市・埋立地企業や観光施設との共創により、横浜の伝統とウォーターリゾートを活かしたアーバンリゾートを実現し、横浜市民だけではなく国内外からのお客様に、海に開かれた“みなと横浜”を印象づける街造りの実現を期待しています。 【提案：2030年までに“横浜市電”を復活&“シーバス”を延伸。横浜の伝統とウォーターリゾートを活かしたアーバンリゾートを実現し、みなと横浜ならではの体験価値向上を図る】 ①市電保存館を「滝頭」から「根岸プールセンター」へ移転、拡充整備する。 (滝頭の「市電保存館」は「市バス保存館」として、再整備を図る。) ②現在の神奈川臨海鉄道本牧線に“市電”を復活、「市電保存館」駅を始発駅とし駅を整備する。 ③“市電”を、北側は「横浜港シンボルタワー」、「元町・中華街」または「石川町」まで延伸。南側は「新杉田」まで延伸。みなとみらい線、JR線、シーサイドラインとの連携を図る。 ④シーバスを「横浜港シンボルタワー」、「海づり棧橋」、「三渓園南口」、「市電保存館」まで延伸。 ⑤シーバスを「市電保存館」からさらに「ブランチ横浜南部市場」、「横浜ベイサイドマリナ」、「八景島シーパラダイス」へ延伸。陸海の回遊性を高め、宿泊・観光施設の整備を図る。	参考	御意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
106	戦略1	「地域独自のストーリーを有する郊外部の歴史や自然、動物園・水族館などの観光資源を生かし」とありますが、歴史や自然、動物園は、入場料が無料や安く、消費に結びつきません。また、駐車場や交通などのインフラも整っておらず、バスの等偶発的に観光客がきてもオーバーツーリズムになるの目に見えています。役所なので郊外部の人に気を使っているかもしれませんが、税金使う施策においては選択と集中で郊外部は捨てるべきです。同じ理由で基地の後のテーマパークの開発についても交通インフラを整備しないと誰も来ないと思います、思い切った交通の投資をするかもしくは山下ふ頭といった交通の便のある場所にするか検討したらどうでしょうか。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
107	戦略1	「バーチャルでの横浜観光体験を通じて、実際の横浜来訪につなげる」がメタバースを指しているように見えますが、既に繁盛しているメタバースは存在しないので、ARやXR等を含んだ表現にしないと今年出す戦略とするとちょっと恥ずかしいかもです。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
108	戦略1	市内各所と運動した魅力づくり「地域ならではの魅力向上」について、観光消費や地産地消に資する「道の駅」は横浜市にはないので、エリアごとに戦略的な設置を検討したらどうか。	参考	御意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
109	戦略1	「GREEN EXPO2027」として2027年国際園芸博覧会があるみたいである。 そこで横浜市として、神奈川県観光協会や横浜観光コンベンション・ビューローと協力されると良いと思います。 横浜市観光・MICE戦略としても「国際園芸観光博覧会」を位置付けて取り組めると良いと思います。	包含・賛同	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
110	戦略1	バス路線を路面電車（LRT）化することで観光しやすい・住みやすい魅力的な街にする。	参考	御意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
111	戦略1	都心臨海部の魅力づくりですが、回遊性を高める移動手段として、宇都宮市で新設し話題のLRTを導入してはいかがでしょうか。LRTは環境によく、またそれ自体に集客力があり、宇都宮市では予想以上に乗車しています。横浜駅から再開発検討中の山下ふ頭までつなげば、観光に便利だけでなく通勤通学にも使えますし、路面電車は横浜の新たなランドマークにもなります。もしそれが難しいなら、現在秦野市で実験中の自走式ロープウェイZipperを導入してはいかがでしょうか。既存の交通より低コストですし、神奈川発の交通として神奈川県知事が視察に訪れ国内外から期待されています。桜木町駅からのロープウェイが大変成功しています。新しい都市型ロープウェイをみなとみらい等に敷設すれば大変効果的です。	参考	御意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
112	戦略1	横浜市長として中区山下埠頭再開発について「カジノ抜きで再開発します。」と言って当選されたので、本領発揮して、カジノ抜きの観光開発をお願いします。とにかくカジノ抜きでやってもらいたいと思います。「国際博覧会横浜2027」をやるので、2027年の前年、2026年（R8年）までに間に合うならとてもいいと思います。なぜならその広報を中区再開発会場のできるからです。横浜市長昇任入りで「カジノ抜き中区山下埠頭再開発」を進めてもらいたいと思います。例えば遊園地、横浜ランドマークタワーの後ろに大観覧車もあるが、とにかく「遊園地」や横浜港周辺の魚たちを集めた「水族館」、またテーマ会場の広場でイベントができるようにしたい。国際園芸博覧会の広報や、また神奈川県と協力して神奈川県物産展の「神奈川フェア」などを神奈川各市とやりたり、横浜市物産展などイベント等、イベント・祭りをお願いします。必要があれば神奈川県と協力してやってほしいと思います。	参考	山下ふ頭の再開発については、カジノを含むIRに頼らないまちづくりを推進していきます。
113	戦略1	横浜市として市政への協力のお願ひもできたり、観光戦略の一環として国際園芸博覧会時も、市政への協力やボランティア協力として、博覧会のお手伝ひをして下さい、と横浜市からもお願いできたらいいと思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
114	戦略1	まちの魅力の発信のため、2002年に西区から特別住民票交付された、帷子川にきたアゴヒゲアザラシのタマちゃんを利用してはいかがでしょうか。西区まちのセールス大使にも任命されましたし、環境や臨海部であるアピールもできます。横浜市や観光関連マスコットキャラクターにすれば横浜市がより親しみが持たれ、また温暖化対策や海洋都市横浜もアピールできます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
115	戦略1	アーバンリゾートの実現に向け、外資系ホテルが複数建設されるなどの再開発が進んでおり、今後の街づくりに期待している。一方で箱物だけができ、ベデストリアンデッキや歩道拡大等の整備が後回しになっていて、せっかくのKアリーナやヒルトン横浜の満足度が下がった結果になっていないか懸念している。先に完成しているカハラホテルは本当に素晴らしいのに横浜駅からのアクセスが今一つなのでもったいないと思っています。外資ホテルを誘致することはインバウンド誘致には欠かせないのですが、個人的にはオークラなどの日系のホテルも建設されればよいのになってと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
116	戦略1	移動そのものを楽しめる街づくり。この移動すらも観光にしようとする動きには驚きとよみなどみらいの活気を使ったと思いました。特にロープウェイは、昔は夏など暑くて橋を渡らなければ赤レンガ倉庫やワールドポーターズなどに行くことが困難になり、観光客はあまりいなかったイメージです。しかし、このロープウェイができたことにより、地方の観光客や外国人観光客が多く使うことになり、町の新たな観光地を作ったと言える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。引き続き、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
117	戦略1	戦略1の多様性あふれる魅力と感動のあるまちづくりを取り上げます。誘客ターゲットでは一般的には値段を重視して日本人観光客は見ると思ったのですが日本人国内旅行消費は外国人消費額と比べると日本人の国内旅行者の方が多いのは旅行や観光するに当たり、近いことから行きやすさや交通の利便性、テレビなどの広告効果や景色や歴史的文化や大々的に大きなイベントがあったりと、さまざまなことがキッカケとなり行くことがあると思いますが、一番の利点としては交通の便利さやイベント系がさまざまなところに横浜はあるというのが最大の魅力と考えます。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。引き続き、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
118	戦略1	多様性あふれる魅力と感動のあるまちづくりを選択します。これに対しては、非常に良い戦略であると考えます。それは、特徴として、都心臨海部を用いて、都市部でありながら親水性が高く開放的なウォーターフロントを生かした、花や緑があふれるアーバンリゾートとして、癒しや非日常の空間を創出し、歩くこと自体が楽しめ、ビジネスでも滞在したくなるまちづくりを進めるということで、横浜市ならではの魅力を発信しているという部分でよい取組の一つであると考えます。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
119	戦略1	横浜を魅力ある街にしていくためには、横浜の歴史や文化を体験できるスポットや美しい景色が楽しめる場所を整備することで、観光客をより呼び込むことができると思いました。また、地元の方々も楽しめる公園やレジャー施設の整備も必要だと思います。さらに、横浜の魅力を生かしたイベントの開催や地元産地のPR活動も行うことで、観光客のみならず地元の方々も横浜を誇りに思えるような街を作ることができると考えました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
120	戦略1	私は以前、TikTokという動画投稿アプリで外国人が横浜の風景をまとめた動画を見ました。その動画は、観光地に限らず地元の人だったら当たり前になってしまうような風景まで撮影していました。外国人観光客から見た横浜を見れたようで改めて横浜の魅力を改めて嬉しい気持ちになりました。だから私は、横浜に住んでいる人が魅力を伝えるよりも観光客が横浜の魅力だと思うところを発信していく方が誘客プロモーションに効果的なのではないかと考えました。横浜に住んでいると当たり前で気づかないような魅力がたくさんあると感じたので、横浜の観光資源や強みと合致する層に対して、SNSを利用した発信や観光客視点での横浜の魅力を大切にすべきだと考えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
121	戦略1	横浜に泊まる外国人観光客が少ない理由は、東京に近いからという理由以外に、海外で知名度の高いホテルが少ないからという理由も挙げられる。そもそも、ホテルの予約等は、日本に訪れる前にするものと考えられる。なので、鎌倉、三浦、箱根と連携して、エリア全体を回遊させて宿泊に結びつけるということをするよりも、外国人観光客が喜びそうな宿泊施設を建設してそれを海外に発信するほうに力を入れたほうが良いのではないかと私は思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
122	戦略1	戦略の1つ目にてできた、都心臨海部の魅力作りには観光客を誘致するために特に重要だと感じた。私は地方出身なので、神奈川に来て最初の頃はみなとみらいなどのきらびやかな土地が新鮮で楽しかった。中華街やランドマークタワー、山下公園などの有名なところが近くにあるのは、とても楽しかった。地元の友達遊びに来た時もこの辺を回るように動くだけで楽しんで貰えた。だが、その友達はみなとみらいという土地が都市部であるとしか認識してなく、周辺に様々な魅力溢れる場所があることをあまり分かってなかった。この辺にはこんなに様々な景色、店などがあるんだという部分を、周知することでもかなり変わるのではないだろうか。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
123	戦略1	多様性あふれる魅力と感動のあるまちづくりについて、みなとみらいや、その周辺の観光力というのは強いと考えていたが、外国人からの横浜の知名度は低いということで、実際横浜として他県にくらべアピールできるものが少ないかなと思った。国内観光客に対してはとても良い観光地になると思うが、外国人観光客が求めているものが無いのかと感じた。私は日本らしさをアピールすることが重要だと思っていてよく外国で表現される誇張された日本の雰囲気や前面に出したテーマパークなど作れば人気が出そうだなと思っている。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
124	戦略1	私は、誘客ターゲットを前提に考えると、横浜観光・MICE戦略の一つ目の、都心臨海部の魅力作りにひかれました。なぜなら、都心だけに限らず日本は海に面している県は少なくはないのに関わらず、どの県も街並みや人々がたくさんそうなる観光地域だけに力を入れていないと自分自身感じており、都心の臨海をもっと活かせば小さなお子さんなどにターゲットを絞ります、お客さんが来てくれるし、それにももちろん大人もついてくるので、子供にターゲットを絞る事でたくさんのお客さんが来てくれると感じたからです。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
125	戦略1	自分の考えは、戦略1の多様性あふれる魅力と感動あるまちづくりの「多様性」の部分です。今後コロナの終息が各国で進んでいくと考えられるため、インバウンドによる観光客の増加が期待されます。その中で、あらゆる言語に対応できるようにするため、横浜市の観光スポットに特化した多言語対応のアプリケーションの作成などを行うことで、さらなる観光客誘致を見込めます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
126	戦略1	音楽・スポーツ・企業・研究機関などの集積を生かしたにぎわい創出について、このことについては実際に実現できていると思いました。最近、Kアリーナがオープンされて、実際に行った友人が何人かいるのですが、高評価だったので、Kアリーナのおかげでさらに横浜を盛り上げていけると思いましたし、アーティストがライブを横浜でたくさん行ってくれたら、横浜のホテルに宿泊してくれたら観光もしてくれたりする可能性があるのでは、経済効果も期待できるのではないかと思いました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。引き続き、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
127	戦略1	4つ挙げられた戦略の中の1つ目の都心臨海部の魅力づくりは進行が著しいと感じる。みなとみらいには関東学院大学と神奈川大学の新設キャンパスができ、学生の街といったイメージを持ちつつある。また事業の一環である音楽アリーナの建設によりイベントが増え、盛り上がりを見せている。ヒルトンの宿泊施設もあり、イベント時の宿泊客の緩和もできる。海外スターによるコンサートも催されているため外国人に横浜を知ってもらう機会にもなる。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
128	戦略1	誘客ターゲットについて国内外の観光消費が高い層をターゲットとした政策が重要であると感じた。横浜港に発着するクルーズ客がすぐにバスへ乗り換え、横浜をほぼ素通りし、他の観光地へ行ってしまう点に課題があるからだ。海外の人から見たら空港という東京(成田)のように、現状、東京と横浜が一括りにされてしまうのは仕方のないと感じた。このことから横浜という場所が東京とは別の街であることを世界へ周知するために、旅行会社との連携強化や国際的な集まり・展覧会の誘致が横浜によってもらうことが大切であると考えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
129	戦略1	横浜の水という環境を活かした商業、文化施設、水上交通、その他のアメニティを充実させて観光客の集客をし、市の財源を確保しようとするのは賢い方法であると感じた。また、数多くの企業、研究機関、学校というものを活かし、人を集めて横浜をよりよくする人材の確保をし、横浜をより良い市にしていくのもとてもいいと思った。子育てをする家庭が安心し、楽しんで生活する街づくりをすることは子育てをしている家庭の移住者を増やすことが出来、市外に移住する人を減らすことが出来るためいいと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
130	戦略1	横浜市という多様性があふれた街には音楽やスポーツ、研究機関などの集積を生かした人を集められるような魅力づくりがびつたりだといえる。大きな港もあり流通にも精通しているため、多くの文化を受け入れてきたことにより、観光客などの受け入れ方も柔軟だろう。文化的な建物が多い為ストーリーで魅せるという点においても海外受けは悪くなく、良い着眼点だといえる。だが、ストーリーで魅せるというのはライバルともいえる東京。または日本全体でいえる魅力であり、そこだけを押していくのは横浜市としても不安材料といえるだろう。そのために戦略2から4もあり戦略性が多様な所がとても良い点だと思う。課題点としては前半にもある強みの音楽やスポーツは国内旅行者の人気や集客は素晴らしいが、海外から求められている日本の文化とは全く別の人気であるところだ。もし音楽やスポーツを使った、より海外受けのあるコンテンツがあれば海外の方もより注目してくれるだろう。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
131	戦略1	自分が気になったのは、戦略1の地域ならではの魅力の向上についてです。旅行者と市民のどちらかだけではなく、両方を楽しんでもらえるために、地域の歴史、自然などの観光資源を活かすことは、この戦略1のテーマの基本なのではないかと思いました。ただ、観光客や人を寄せ集めるために、無理に色々なものを変えようとしたりすると、却って本来の魅力が無くなってしまったり、それらを伝えることができなくなったりすることもあると思うので、気を付けて行うべきだと思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
132	戦略1	横浜市は他の都市に比べて多様性はすごく魅力であると他の地域に住んでる身からしてもそう思います。みなとみらいや桜木町などには、高層ビル群が立ち並び、近くには海もあるという美しいまちだと思います。また、少し電車で揺られれば、自然あふれる土地もあるなど、わかりやすく魅力を視覚的に伝えられるポイントがたくさんあると思います。横浜には古くからの歴史があり、日本でも有数の都市であるため、他の地域より観光できるポイントや昔からの建物などを今の建物と合わせたりすれば、感動も増えるのではないかと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
133	戦略1	横浜市観光・MICE戦略にある戦略の一つである多様な魅力と感動のあるまちづくりについて、横浜が港として栄えていた特徴を生かした他の観光都市との海路を使った観光戦略は、歴史的背景に基づいたものであり、若年層以上に高齢層にウケがいいものであるように感じた。ただ、高齢層の交流人口が増えたとしても、将来の定住人口を増やすことにはあまりつながらないように感じた。もし将来の定住人口を増やすのであれば、若年層にターゲットを絞ったものが良いのではないかと感じた。例えば航路をより手軽に提供することが効果的だと感じた。若者にとって、観光における交通手段の多くは電車や車などであり、その理由のひとつが費用面での手軽さだろう。そのため、海上の移動手段に手軽さがあれば、観光における交通手段の選択肢に入り、発着港として有名な横浜の注目度が上がり、若年層の関係人口が増加するのではないかと考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
134	戦略1	戦略1の多様な魅力と感動のあるまちづくりについて、観光地としての役割を担いつつ子育てファミリー層が安心して楽しめるまちづくりをするというのは難しいのではないかと感じた。近年ではマナーの悪い外国人観光客による、ゴミのポイ捨てや観光地への落書きといった行動も目立っており、これらの両立は難しいと私は考えている。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
135	戦略1	横浜の開港の歴史や文化芸術、まちに広がるイベントなど多様な魅力をつなぎ合わせて回遊につなげ、まち全体のにぎわいを創出し、地域独自のストーリーを有する資源を生かすなど、横浜ならではの体験価値を高めていくことで、リピーターを増やし、誰もが訪れるたびに新たな発見・感動のあるまちを目指すことは、最も効率が良いと感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
136	戦略1	横浜の観光の特徴としてあげられていた、首都圏や市内から来る人が多く圧倒的に日帰りが多いことや、飲食やテーマパークへ行く人が多いという点から、日中に来てすぐに帰ってしまう人に対する取組としてとても効果的であると感じました。朝に横浜に到着し、中央卸売市場や朝食などを楽しんでから、お昼に食べ歩きやテーマパークで遊んで、夜はナイトクルージングやライトアップで遅い時間まで楽しむことができる流れができているのが良いと思いました。朝から夜までの時間だけでなく、場所の部分でも多様な主体の連携により、回遊への誘導もできており、横浜全体でまちづくりを行っている印象が強く感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
137	戦略1	4つの戦略のうち、都心臨海部の魅力づくりについて、ファミリー層への取組により力を入れていくことが良いと思った。資料にもあった通り、横浜はみなとみらい線や市営地下鉄があり、車がなくても交通の利便性が高いため、簡単に移動できることが良い部分だと考えたため、臨海部はそのままレジャースポットとしての利点を生かし、いずれはもう少し内陸の方にも観光や、外出で気軽に訪れることができるようなスポットを作ったり、安心して楽しめる環境を整備するべきだと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
138	戦略1	日本のスポーツ選手が世界大会などでアメリカや強豪国と肩を並べられるくらい強くなっていて、それに伴ってスポーツをしていなかった人もスポーツ観戦に足を運んでいて、チケットが取れないくらい人気である。私はスポーツ観戦より自分が動く方が好きなのですが、今回バレーボールのワールドカップ予選を見に行ったら、ワールドカップ出場も決まり、強豪国のアメリカに接戦をしていて、レベルの高さにバレーボールをしたくなった。地方から来ている人も多く、近くの宿泊施設や飲食店を利用している人が多くいた。スポーツが直接飲食店や施設に関わっている現場を見てないが、結果的に利用していた人が多かったので、間接的に影響を与えていたと思う。先日は、箱根駅伝や海の公園でマラソン大会を行っていて、本格的なマラソンを経験できる。幼稚園生から大人までエントリーでき距離も選ぶこともできるので、気軽に参加できるのは素晴らしいと思った。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。
139	戦略1	音楽やエンターテインメントは、年齢や性別だけでなく国境を越えて交流することができ、言葉が分からなくても、それらを通して触れ合い、みんなが楽しむことのできる素敵なものであると思う。そんな音楽やエンターテインメントを観光に結び付けるのはとても良い考えであると思う。現代ではポップやアニソンなど日本の音楽が海外でも流行しており、それらに関連したコンサートやエンターテインメント、アートなどのイベントを観光と結びつけることで、日本の文化に触れながら観光を楽しむことができるともよい計画であるとする。子供も大人も楽しめる体験型メニューについて、やはり音楽やエンターテインメントは性別や年代を問わず楽しむことのできるコンテンツであり、それらの体験型のメニューを拡充することで家族連れの観光客も呼び込むことができると思う。桜木町駅ではよく路上ライブのようなものも行われており、そのような音楽を発信している人たちをもっと支援することで、日本の音楽の魅力を伝えることができるのではないかと考える。このように日本の音楽やエンターテインメントを観光と結びつけることで、国境を越えて世界中の人が楽しむことができるとも良いアイデアだと実感した。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
140	戦略1	横浜市は市内だけでも多くの観光地がある。しかし、多くの観光地は横浜市内にはあるものの、横浜市は広いので、いざ行こうと思うと1日では回り切れず諦めてしまうことも考えられる。これは横浜市に多くの観光地があるメリットであり、それらの観光地が距離が離れているデメリットでもある。私は横浜市の全体が分かる地図に観光地を記載したスタンプラリーのようなものを行い、一日で回れるおすすめルートを、世代や外国人向けなどいろんな方面に向けたルートを何通りも作成し、顧客自身が楽しみそうなルートを探していただくようなものがあると思う。しかしスタンプラリーのみだとやらない人が続出すると思われるため、横浜市内の企業からその企業の製品を景品としてプレゼントみたいなものがあれば、横浜市の観光地の宣伝や企業の製品紹介ができると思う。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
141	戦略1	首都圏から最も行きやすいウォーターフロントの一つでもある強みを活かして町づくりをしているのは良い考えだと思った。この「都心臨海部の魅力づくり」を見て、どの年齢層の人たちでも楽しめる街づくりをしているのだと思った。若者たちが多く集う音楽ホールや、高齢者の方々が楽しめる元町・中華街エリア、子育てファミリーで楽しめるレジャー施設など、年齢層を絞らずに街づくりをしている。もちろん、首都圏だけでなく関東圏内からも多くの人たちが訪れやすい町づくりがされていることが分かった。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
142	戦略1	「みなとみらい」と「中華街」以外の観光地としての横浜の知名度を今以上に上昇させることを目指してほしいと感じた。私が横浜の観光地と言われてすぐさま思い浮かぶのは、正直なところ「みなとみらい」と「中華街」だけである。このイメージのまま知名度を上げてしまうと、いつかオーバーツーリズムが起きてしまうのではないかと不安がある。そのため、「みなとみらい」と「中華街」以外の観光地としての横浜の知名度を今以上に上げてほしいと感じた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
143	戦略1	私たちの住む神奈川県は多くの観光地がある良い県であり、また東京も隣接した県であることから、広域連携の推進をすることはとても良いと思いました。その中でも海外の観光客は京都などの歴史的建造物や温泉地を求めて日本に来ることが多いと思うので、神奈川の中でも、鎌倉や小田原には歴史的建造物や歴史があったり、箱根には自然豊かで温泉も多くあるので、この良いところをもっと出していくことで、多くの観光客が横浜を観光地として知る一歩目になるのではないかと考えた。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
144	戦略1	私は、横浜市に住んでいるので、横浜市がこれからどのようなまちづくりをし、目指す姿・基本姿勢・誘客ターゲットなどをどのように考えているのか、ということに興味を持ちました。資料の中でも、ウォーターフロントを生かしたアバンリゾートの実現はとて面白いことだと感じました。横浜市は都心部からも近く、海や自然が身近にあって、その部分を活かして魅力にすることは可能だと思し、横浜市でしか味わえない魅力を作れる、音楽ホールやスポーツ施設等の集積を生かして街を賑やかにすることもできると考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
145	戦略1	多様性と感動のあるまちづくりについて、自分はこの戦略が最も力を入れるべき分野だと考えます。横浜の一番の強みは何かと考えたときに、真っ先に思いつくのはみなとみらいのウォーターフロントならではの美しい景観と異国情緒溢れる街並み、そしてアクセスの良さです。これらを横浜の武器として発信していくことで横浜ならではのブランドが全国、ゆくゆくは全世界へと浸透し、東京と横浜が一緒だという勘違いも減ってゆくと考えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
146	戦略1	横浜を魅力あふれるまちづくりにするためには、リピーター率を高めることも重要であるが、初めて横浜に来た人でも楽しめるようなまちづくりの発展も同様に大切だと思う。これらを実現するためには、イベントや飲食店の連携強化は特に重要になってくると思った。横浜ならではのイベントを開催したり、横浜でしか味わえない公共空間の活用によって、横浜に初めて来た人でも、以前からよく来る人も、楽しんでもらえるようなまちづくりが大切だと思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
147	戦略1	4つの戦略の中で都心臨海部の魅力作りをしていくと述べられているが、今の横浜の臨海部には赤レンガやみなとみらいなど、すでに多くの観光地や有名なところが多数あると思ってるので、それよりも個人的には、臨海部よりも海から離れた横浜の観光を底上げして欲しいと感じています。海の近くではない横浜に何があるのかと言われれば正直これといったものは自分では出てきません。なので個人的には臨海部よりも海から離れたところの観光地化を進めて欲しいと感じています。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
148	戦略1	横浜は都会という点で東京とも近く比較される部分もあるので、横浜の観光資源や強みと合致する層、クルーズ客を狙うことが重要だと考える。横浜にしかないもの、横浜スタジアムを利用する野球ファンや、中華街に行く観光客、そして東京にはないクルーズ船の利用客が目的のために横浜を利用するのではなく、野球を見るついでに他の観光スポットに寄ってもらったり、クルーズの前や帰ってきた後に楽しんで利用してもらえようなどところを作るべきだと思う。	参考	クルーズ客の観光を促進するため、市内飲食・物販店のご協力を得ながら、クルーズ客への割引、英語対応等のサービスを行う「クルーズ・フレンドリー・プログラム」や街歩きガイドブックの発行等の取組を進めています。御意見の趣旨も参考に、引き続き、各種施策を推進していきます。
149	戦略1	横浜市は非常に魅力的な市である。横浜市といっても広く、瀬谷、港南など多くの区から出来上がっている。しかし関東圏の人が横浜と聞くと多くは赤レンガ倉庫やランドマークタワーなどがある桜木町駅やみなとみらい駅のある西区や中区を連想する方が多いと思います。それは海沿いの知名度が高いこともあるが、内陸の魅力がないとも考えられます。私は緑区の日市場駅が最寄り横浜市歌を歌い始めて20年になります。しかし、横浜市内の陸の魅力が一つも思いつきません。なので、海側だけではなく山側を開発して欲しいと感じました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
150	戦略1	私はこの4つの戦略の中で最も興味深かったものとして「多様性あふれる魅力と感動のあるまちづくり」であった。横浜といえば何かと問われれば私は「港町」であると答える。この横浜市の素案にも都心臨海部のまちづくりとしてウォーターフロントを生かした観光、景観、また音楽やスポーツ施設など様々な空間が多くあった。実際に私自身も横浜を散策する際、横浜でしか見れない景色や味わうことのできない感動といったものが多く詰まっているのだと肌で実感する。素案にもあったが臨海部でしかできない水上交通、ホテルやエンターテインメント施設、新たな音楽施設などを作ることで、多くの人に横浜を好きになってもらい住んでみたいと思えるような素案内容であったと思った。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
151	戦略1	まちを創るという点では、箱根などの観光地から近隣エリアとの連携として宿泊をしてもらうことにより、滞在したくなるという気持ちを生み出しているところに工夫を感じました。また人を創るという点では、近隣エリアとの連携で必然的に多様な人との関わりを横浜が持つことになるので自然に繋がっていく流れを感じました。最後にしくみを創るという点では、近隣の観光地の魅力などを活用し、横浜にも足を踏み入れてもらうというところで、観光地や宿泊施設にユニバーサルデザインなどを取り入れることにより、どの世代にも楽しんできてもらえる繋がりができると考えました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
152	戦略1	私は、誘客ターゲットを観光消費が高い層である、子育てファミリー層やクルーズ客に絞っているということはとても良いと思いました。しかし、現在では子育てをしている母親や子供も、InstagramやXなどのSNSを利用している可能性が高いです。したがって、まちの魅力を発信する手段として、SNSをもっと上手に使って発信をした方がよりたくさんの子育てファミリー層やクルーズ客などの誘客ターゲットに広めることが出来ると考えました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
153	戦略1	三溪園などの観光資源や子供も大人も楽しめるレジャー施設は定住につながるかは別として、人を県外や外国から呼び込む戦略として、この戦略は他のどの戦略よりも優れていると感じました。この戦略の中でも特に人を呼び込むという点で優れていると思ったことが、「音楽・スポーツ・企業・研究機関などの集積を生かしたにぎわい創出」です。神奈川県にはドームやスタジアム、ホールがたくさんあり、音楽やスポーツのイベントを開催しやすく、そのイベントに参加するために一気にたくさんの人が集まるため、人を集めるという点で優れていると考えました。国際園芸博覧会などの「市内各所と連動した魅力づくり」は県内在住の人が日常生活の中でも親しむやすいものとなっているため、県外の人が神奈川県に定住する要因になりえると思いました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
154	戦略1	重要な素案だと思った。なぜなら、MICEの取組内容の一環として、観光事業に力を入れることと神奈川県と連携することが横浜市を活性化させる良い案と感じたからである。そのほかに、三浦半島地区や湘南地区といった地域の魅力を横浜市と相互し、外国人観光客や他県の観光客への集客効果になるだろう。そして、目標を細かく設定することが横浜市が目指す姿の実現につながるかと素案を読んで感じた意見である。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
155	戦略1	私はみなとみらいでアルバイトをしています。みなとみらいには大きなアリーナがあり週末には多くの方がそのアリーナでのライブを見に来ています。アリーナでのライブの後にみなとみらいを観光する人が多くいるためだと思います。また、みなとみらいには多くのイベントが一年中絶え間なく行われています。そのイベント目的でみなとみらいを訪れる人も多くいるはずなので、それを生かした街づくりをこれからもしていくと、より地域ならではの魅力が向上していくと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
156	戦略1	戦略1の中で広域連携というものがあり、横浜を拠点とした宿泊につなげるという取組があったが、このことの実現はかなり難しいと言える。なぜなら交通網が整いすぎているからであると私は考える。交通網が整っていることによりメリットとして人の流れは良くなるが、デメリットとしては大抵の人は泊まるならば家に帰るという選択をしてしまうことである。そこで私は家に帰るならここに泊まりたいと思えるような環境づくりが必要であると考えた。例えば、市が交通機関、宿泊施設の会社と連携して市から指定された宿泊施設を利用すると帰りの交通機関利用料金が割引になるという案はどうだろうか。宿泊施設の知名度の上昇にも繋がりが、また航空会社とも連携できれば横浜市を世界にアピールできる可能性もあると考えられる。様々なジャンルの魅力を持っている横浜市だからこそより企業と連携することが必要なのではないかと私は考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
157	戦略1	私は目指す姿の多様性あふれる魅力と感動のあるまちづくりという戦略が良いなと思いました。生まれた時から横浜市に住んでいるので、学校帰りや友人と遊ぶ場所といった横浜や桜木町が多いのですが、何回も訪れても街並みに飽きることなく夜もライトアップされ綺麗なので、朝も夜も楽しめるまちづくりができていなと思っています。また、赤レンガの方では今まで様々なドイツビールが飲めるフェスやクリスマスになるとクリスマスマーケットといったイベントも開催されるので、人ににぎわいや地方から横浜を訪れる人も多いのではないかと感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
158	戦略1	広域連携の推進が戦略の一つに挙げられていたが、近隣エリアと横浜の魅力をかけ合わせることでエリア全体の回遊は促進できるであろう。しかし、横浜を拠点とした宿泊を促進する効果は必ずしも期待できないのではないかと。エリアを回遊する際に宿泊地が横浜となりやすいプランを立ててもらうことが必要となるが、温泉や新鮮な海の幸を提供できる地域には劣る面もあり、また、都会の夜景は東京でも見ることができる。宿泊を推進するためにはみなとみらいなどを最大活用し、他の地域との異なる差別化を図っていかねばならないのではないかと。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
159	戦略1	都心臨海部の魅力づくりにおいて、横浜市が戦略とする、飲食店、商業施設、宿泊施設の連携強化によるにぎわいは、横浜市の観光都市としての知名度の向上も期待できますし、地域が観光によって整備されることは、地域住民にとっても、利用する上で助かると思われました。また他の地域で比較的近い地域との連携は横浜が東京の一部として見られることから、横浜を中心とした観光都市としての認知及び訪問する観光客の向上が期待出来て、良いと思われました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
160	戦略1	目指す姿の実現に向けた四つの戦略、特に戦略1について、横浜の特色をうまく利用していて効果的な戦略だと思った。各地方の観光名所などは観光におけるジャンルが明確に一つに絞られていたり、そもそも観光客が目的とする対象がひとつであったりすることが多いが、それでも観光地として人が絶えないほどの魅力がある。横浜市にはそれと並ぶ集客力がある観光地があるというイメージはないが、戦略1では都市部という利点の活用や複数の施設や観光地で幅広く楽しめるという形で魅力を出し、工夫がされている。観光地一つ一つの知名度という同じ土俵で勝負しないことは、都市部が観光地として生き残るうえで重要な視点だと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
161	戦略1	横浜というと、みなとみらい、中華街、赤レンガ倉庫など多種多様な観光地が思い浮かぶだろう。しかし、その一部だけが「横浜」と認識されている気がする。私はこの「市内各所と運動した魅力づくり」に力をもっと入れてほしい。地元の人達も横浜といえばみなとみらいのあの風景を想像すると言っていたことを覚えている。現在弘明寺に住んでいるが、弘明寺という横浜で一番古いお寺があるにも関わらず、私も住むまで知らなかった。このように横浜の魅力はみんなが想像する都心臨海部の他にもたくさんあると思うので、横浜のイメージをより幅広くするために市内各所との運動を強めていただきたい。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
162	戦略1	ウォーターフロントを生かしたアーバンリゾートの実現が最も良いだろう。横浜は、ウォーターフロントでありながら、近くに山下公園があり、花や緑があふれている。そのため、「都心部でありながら親水性が高く開放的なウォーターフロントを生かした、花や緑があふれるアーバンリゾートを目指す」という戦略はよいと感じた。また、みなとみらいや桜木町の周りにホテルがたくさん建っていることも含め、アーバンリゾート地にするにはびっぴりな場所であると言える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
163	戦略1	郊外部の歴史や自然、動物園・水族館など地域に根差し、強みを生かした取組や活動はとても魅力を感じた。また大型集客施設で開催されるイベント前後の回遊促進になるのですごく良いと思った。田舎出身の自分は横浜が都会すぎて高層ビルや人の多さに疲れることがあるので、このような自然をや地域の特長を生かした活動というのは息抜きができていい場所だと思った。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
164	戦略1	地域ならではの魅力、ブランドを市内の企業や事業者と協力することで、様々な年齢層を誘客できることに期待できると思う。また、企業から別の企業へ、事業者から別のジャンルの事業者へと繋がりが、多様な旅行者が来るなか、年齢層だけではなく、色々な人へインバウンドを与え、旅行者という立場で終わらず、定住者としての誘客を図ることができる。市が独自で誘客するのではなく、様々な人と協働することで他都市からの誘致を期待できる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
165	戦略1	積極的にInstagramやX(Twitter)などのSNSアプリを市が運営・活用を行い、イベントごとに場所・日時・内容といった詳しい情報を発信することで旅行者の増加や分散に繋がると考える。さらに、国内の誘客に留まらず海外にも誘客を行うために、使用人口の多い中国語や英語といった言語を用いて、詳しい内容を載せた文章を発信することで、日本人の誘客だけでなく、海外に住む人にもプロモーションを行うことができると考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
166	戦略1	横浜市観光・MICE戦略の目標として市内経済を活性化するためには、観光、MICEの推進により、観光消費額を伸ばす必要がある。そのために中期計画の目標値を具体的に横浜市は定めており、長期的で持続可能な観光を推進していることが分かる。横浜市の都心臨海部の魅力づくりの強化があげられる。音楽ホールやスポーツ施設等の集積を生かし、各施設・イベント等の連携や公共空間の有効活用を進め、さらなる民間企業の参入によって、より活性化したイノベーションを担う人々と会社が国内外からの向上を図ることができる。このような取組は周辺商業施設、飲食店、地域社会の活性化の要因になる。また、関係人口の増加と定期的ではなく継続的な賑わいを継続させることのできる施設があることは、横浜市としての魅力の一つであると同時に誘客ターゲットを絞ることにつながる。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
167	戦略1	戦略1の「多様性あふれる魅力と感動のあるまちづくり」に関して2つの意見があります。1つ目は「国際園芸博覧会開催中は国内外から観客を誘客し、宿泊につなげる」とありますが、現在の国際園芸博覧会の会場周辺には宿泊施設が不足しており、会場近くで宿泊を希望する人々に対応できていません。そのため、会場周辺に新たな宿泊施設を建設し、遠方から訪れる人々を歓迎する準備が必要だと考えています。2つ目は「上瀬谷エリアにおいて新たな郊外部の活性化拠点を形成」とありますが、上瀬谷エリアは周辺に物流拠点があるため、交通量が多く、しばしば渋滞が発生します。仮にそのまま活性化拠点を形成し続けると、渋滞が悪化し、来場者が予想よりも少なくなる可能性があると考えます。そのため、上瀬谷エリアは東名高速の横浜町ICに近いことから、横浜町ICから上瀬谷エリアへのアクセスを改善するための道路整備など、渋滞緩和策を検討する必要があると考えています。	参考	1つ目のご意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。2つ目のご意見につきましても、趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。なお、上瀬谷エリアの混雑緩和に向け現在、八王子街道の拡幅整備など周辺道路ネットワークの強化を進めています。
168	戦略1	音楽・エンターテインメントによるにぎわい創出は良いと思う。スマホがあればどこでも音楽を聴けるという時代。このように、多くの人が集まって同じものを聴くということは貴重であり、重要だと思う。最近では、横浜にKアリーナという施設が出来た。そこで、横浜にゆかりのあるアーティストである「ゆず」が、こけら落とし公演を行った。大盛況だったようだ。音楽をメインとしたイベントには、自然と多くの人が集まる。逆に、人が集まりすぎて公共交通機関が混雑してしまうという、問題もあるかもしれない。しかし、それもまた賑わっているということで、良いと思う。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
169	戦略1	多様性溢れる魅力づくりと感動のあるまちづくりの戦略がよいと思われました。海や川を有効活用して都市の中の水が景観を良くしているように見せるまちづくりをしているなどと思った。水の近くにホテルや施設を作りリゾートとしての街を作れていると思った。観光に力を、臨海部に特に力を入れていただくと僕は思いました。理由は、横浜みなとみらいを中心として光や音を使った綺麗な横浜を実現していると思ったから。スポーツや研究機関なども積極的に魅力を伝えている横浜は、とても雰囲気よく誰でも気持ちよく過ごせる街が実現できていると思った。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。



No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
170	戦略1	私は藤沢市に住んでいるので、横浜の魅力というのはあまり深くは知らず、表面上だけでしか知らないというのが現状です。ただやはり友人と遊びに行くことも多いので、その中で思ったことを述べさせていただくと西区や中区の臨海部と泉区(藤沢市北部と隣接)や瀬谷区など内陸部では特徴が全く違うと感じました。特に臨海部には、みなとみらい地区があったり赤レンガ・中華街があったり全国的にも非常に有名な場所ばかりです。近代的でありながら、開港の歴史も見ることができるといえる点は学びにもなりますしとても魅力的なのではないでしょうか。また資料にも記載があるとおり、コスモワールドやカップヌードルミュージアムなどファミリー向けの施設も多く、臨海部は非常にバランスの良い都市像をしているなどと思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
171	戦略1	広域連携の推進は、地域の発展に向けた非常に重要な一歩だと感じる。横浜市周辺の地域が協力し、資源や知識を共有することは、観光やMICEの分野において大きな利益をもたらす可能性が見込めると考える。また、周辺地域との連携は文化交流や地域コミュニティの強化にもつながり、地域社会全体にプラスの影響を及ぼすと感じる。地域の魅力を高め、訪問者にとっても充実感ある体験が提供できることはとても素晴らしいことである。そして、広域連携の推進には協力とコミュニケーションが欠かせないが、その結果得られる利益は地域全体にとって非常に大きな価値があるため、横浜の未来に期待ができると考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
172	戦略1	私がこの事例について感じたことは、音楽やスポーツは幅広い年代に興味を持つ人が多く、横浜でイベントが行われる際には横浜市に興味があるないに関わらず、横浜市に足を運んでもらうことで、横浜の魅力に気づいてくれる人が多くいるのではないかと感じ、とても良い戦略であると感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
173	戦略1	みなとみらい地区は作られた街で人の営みが見えません。魚市場や野菜の取引所があるのに大規模なファーマーズマーケットがないのもったいないです。朝市やナイトマーケットを行って欲しいです。メルボルンのビクトリアマーケットの取組を参考にしたらよいのかと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
174	戦略1	市内各所と連携した魅力づくりについて、現状の市による広報軸がみなとみらいなどの臨海3区(中・西・神奈川区)に偏っている気がします。臨海3区を訪れた観光客に郊外部の観光地(ズーラシアや金沢区臨海部など)にも足を運んでもらえるような対外広報を臨海3区の駅などでしたほうがよいと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
175	戦略1	郊外区の主要駅前を区画整理し、観光客にわかりやすく、好印象を与える市内交通を実現することも必要ではないでしょうか？郊外駅の区画整理はスプロール化した市街地の解消にもつながると思います。	参考	ご意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
176	戦略1	エンタメでのにぎわい創出について、50人から100人ぐらいのお客様の収容ができる劇場、小ホールが必要だと感じます。赤いくつ劇場のような場所や、都内で多く見られる小劇場のようなコンパクトなものがあると、使いたい演劇関係者は、横浜市内に多いです。大型な箱を作るだけでなく、市民の芸術活動活性化をすることで、他地域からも人が来るようになると思います。ぜひ、よろしくお願いします。	参考	市内の小規模な劇場・ホールについては、行政が設置しているもののほか、民間が開設している施設があります。そうした施設との連携を深めるなど、御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
177	戦略1	横浜観光の問題は横浜駅に色々な店が集まり過ぎていることだと思います。観光に来る人達には横浜駅は箱物しかない普通の繁華街でこれといった魅力がないと思います。横浜中心部は路面店や個人商店が少なく街歩きが楽しめるとはいえません。みなとみらいのビル一階にハイブランドとかをテナントとして入れるだけでも観光の面でプラスになると思います。馬車道や関内が再開発を進めているので、周辺のお店が増えるだろうから、これから日帰りではなく一泊して楽しめる観光地になるのではないかと期待しています。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
178	戦略1	横浜港の一周環状線を基本とした、各拠点鉄道駅を経由する回遊型ライトレール交通又はロープウェイの整備。同じく横浜港の一周環状線を基本とした、回遊型の歩道や自転車コースの整備。高島貨物線を活用した観光型S/L列車の誘致。瀬谷の博覧会へは最寄り鉄道駅から出発するライトレールかロープウェイを整備すべき。今後広がるであろう自動運転に対応する自動運転区域の整備。	参考	御意見につきましては、戦略を進める上で、今後の参考にさせていただきます。
179	戦略1	「国際園芸博覧会の開催に向け、グリーンイノベーションによる新しい社会の実現を目指す博覧会の開催意義や魅力の発信等により、機運醸成を図り、誘客につなげます。」とありますが、現状で国際園芸博覧会が盛り上がりつつある印象がないです。一時的な国際園芸博覧会より、昔からある山下公園等の既存の場所で、横浜市民や観光客が植物を見る機会を重視してほしいです。また国際園芸博覧会にあまり人が来ない場合を想定してほしいです。	参考	国際園芸博覧会開催に向け、今後も機運醸成を図っていきます。また、山下公園等既存の公園をはじめとした各所でガーデンネックレス横浜等を通じて、今後も花と緑を楽しんでいただける環境を整えていきます。
180	戦略1	アニメやゲームとのコラボイベント開催やポップアップショップ誘致の強化を提案する。びあアリーナやパシフィコ横浜、開業したばかりのKアリーナでもアニメ関連のライブやイベントが開催されており、サブカルチャーの需要は大きいと考える。最近では、ワールドポーターズや横浜駅近郊のビルでアニメ関連のショップなどが増えてきているものの、東京に比べればまだ少ない。みなとみらい線沿線の観光需要の大きいところにより多くのイベントやショップの誘致は観光客、消費金額の増加につなげることができるのではないかと。また、アニメーションや漫画の原画等の展示会の誘致強化も良いと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
181	戦略1	子育て世代だけではなく、多様性を大事にして、大人も子どもも楽しめるとしたほうが良いと思います。	修正	御意見の趣旨を踏まえて、表現を修正しました。
182	戦略1	「それらをつなぎ合わせて回遊につなげ、まち全体のにぎわいを創出」に賛成です。「まち全体のにぎわいを創出」する時には、新しい施設を税金を使用して建設するのではなく、既存の施設を活用して「まち全体のにぎわいを創出」してください。既存の施設の維持費を考えると、新しい施設を建設しない方が良いと思います。	包含・賛同	御賛同いただき、ありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
183	戦略1	「ウォーターフロントの景観を生かして夜も朝も楽しめるコンテンツを拡充」とのことですが、夜のコンテンツの拡充は夏休み等の限定された時期に実施してほしいです。横浜市は夜に騒いで良いんだと国内外にイメージが広がって、路上でお酒を飲みながら騒ぐ人が出ないようにしてください。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
184	戦略1	「旅行者の時期(季節や平日・休日等)や場所の分散化を図り、快適なにぎわい空間を創出します。」は実現してほしいです。旅行者が増えても、分散化することで、休日に旅行者が多くいて横浜市民が横浜市内のお店に入りにくいといった状況が増えないようにしてください。	包含・賛同	御賛同いただき、ありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
185	戦略1	インバウンドに力を入れて頂き、特にアジアからの観光客の誘致を強化し、今後企業や人材の誘致にもつなげていっていただきたい。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
186	戦略1	横浜は、「アーバンリゾート」なのでしょうか。	その他	横浜の多様性あふれる魅力をつなぎ合わせ、都会にいなながら非日常の高揚感のある体験や、癒しのあるラグジュアリーな滞在が楽しめるアーバンリゾートを目指します。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
187	戦略1	「都市型ワーケーション」について、コンベンション、レセプション、ソーシャルプログラムの利用促進がいかに「ワーケーション」の拡大に結び付くのか、到達までの経路が示されていない。コロナ禍が収まりつつある中、一時は流行った在宅勤務リモートワークも、コロナ以前の勤務形態にほぼ戻った。この状況下、単なる在宅勤務ではなく、「都市型ワーケーション」の実現性はあるのか。	参考	御意見の趣旨も参考に、都市型ワーケーションのみならず、ビジネスでの潜在における観光も推進するような取組を進めていきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
188	戦略1	「夜も朝も楽しめるコンテンツ」について、水上交通等移動手段の充実による回遊性の向上はいいが、イベント主催者や飲食店、商業施設、宿泊施設等の連携強化を図り、「まちぐるみのイルミネーションの展開、ナイトクルージング、ナイトツアー」（P30）「アフターコンベンションの充実」（P34）等、「夜」は、比較的取り組みやすいだろうが、ただし、これで「横浜らしさ」と言えるのかは、はなはだ疑問。 一方、「朝」は、「中央卸売市場での朝イベント」（P30）等に限定され、一般の事業者にはハードルが高いのではない。 「人手不足」が言われ「働き方改革」が進む中、昼夜を分かたず観光客にサービスを提供し続ける横浜の労働者は、ハードな労働条件下で働かされることになるのでは。 旅行者の時期や場所の分散化・平準化について、上記「夜も朝も」の関係を含め、旅行者・来街者のため、横浜の事業者/市民に24時間365日休みなくサービス提供し続けることを強要することになる。その点の根回し・調整は進んでいるのか。	参考	本戦略は、観光・MICEの取組の方向性を示しています。 御意見の趣旨も参考に、多様な働き方やデジタル技術の活用等、事業者や市民の皆様とともに、今後、施策を推進していきます。
189	戦略1	「企業・研究機関などの集積」を「生か(す)」ことで、いかに「にぎわい創出」するのか。 「企業・研究機関などの集積」を「観光コンテンツとしても活用」とは、展示室や博物館等であればそれも可能であろうが、企業そのものの「観光コンテンツ」化は見通しにくいのではないか。	その他	企業が集積することにより、国内外から新たな交流が生まれ、YOXOフェスのような一般向けのコンテンツも生まれています。今後も企業・研究機関の集積を生かしてにぎわいを創出しています。
190	戦略1	「連続的ににぎわいをハード・ソフト両輪で創出」とは具体的に、だれが何をどうするのか。	その他	本戦略は、観光・MICE(ソフト)とまちづくり(ハード)を両輪で進めていくという、取組の方向性を示したものです。 今後本戦略をもとに、事業者や市民の皆様とともに、具体的な取組を進めていきます。
191	戦略1	「様々な観光資源とのストーリー化」とは、具体的に何を指すのか。	その他	観光資源を、その背景や人物等をテーマに沿ってつなぎ合わせて、ストーリー性を持たせ、より魅力ある観光資源に磨き上げていきます。
192	戦略1	「コンパクトに移動しやすく」ではなく、「スムーズに移動しやすく」ではないのか。「コンパクト」とは「コンパクトシティ」を想起させる(P17)。「レジャー施設や商業施設、宿泊施設」等を一カ所に集中させる、ということか。「レジャー施設や商業施設、宿泊施設」等であれば、集客力のある街・地域への設置が望ましいのかもしれないが、企業や歴史的建造物等の「コンパクト」化への対応は可能なのか。 「観光・MICE事業」は、「都市臨海部」のみの発展・繁栄を目指し、郊外部を含めた横浜全体ではないように読める。来街者ファースト、市民ラスト（置いてきぼり）になってはいないか。	修正	「レジャー施設や商業施設、宿泊施設」等を一カ所に集中させる、ということではなく、既存施設の集積を生かすことを念頭に記載したものです。御意見を受け、表現を修正しました。
193	戦略1	「郊外部」とは新横浜、上瀬谷だけではない。新横浜を「にぎわいの核」に、上瀬谷を「郊外部の活性化拠点」と位置づけている。一方、その他すべての市内「郊外部」は「トリクルダウン」を待て、ということか。都心臨海部に集中する客を、いかに「地域ならではの魅力」に向かわせるか。その方法論の提示がない。否、政策立案者の中には既定のこととして答えは出ているのであろう。「自助努力/自己責任」がそれだ。	参考	本戦略は、横浜市全域を対象に、観光・MICEの取組の方向性を示しています。御意見の趣旨も参考に、地域ならではの観光資源を生かしながら、市内各所と連動した魅力づくりを進めます。
194	戦略1	花博に関して、花博開催に向けては、「開催意義や魅力の発信等により、機運醸成を図り、誘客につなげる」。そして花博期間中は、「市内の回遊・宿泊につなげる」とは、自家撞着ではないのか。	その他	花博の開催前、開催期間中、開催後に分けて、取組の方向性を記載しています。
195	戦略1	「テクニカルビジット」による「エクスカッション等のプログラムを充実させることで、回遊性の向上を図る」とはどういうことか。ビジネス客を迎える側は、来訪者の不便を最小化するため、あらゆる分野のワンストップ化を図るであろう。そうなると、来訪者の回遊も最小で済み、横浜市が望む「回遊性向上」の実現は困難なのでは。	その他	テクニカルビジットをはじめとしたエクスカッション等のプログラムは参加者のニーズに応じて実施されるもので、当該プログラムを充実させることは回遊性の向上につながると考えます。
196	戦略1	「ゲートウェイを目指す」戦術・戦略は如何。空港のない横浜を「ゲートウェイ」にする、というが、ゲートウェイになるため「マーケティング」などという。しかし、そんなことは世界各地の観光地があたり前にやっていること。何の目新しさもない、ましてや、「横浜らしさ」など何処にも見当たらない。 「横浜の魅力と国内各地の魅力が掛け合わせたプロモーション」?“他人の力”を借りないで国内外から人を呼ばない、と言っているようなものではないか。その挙句、“上から”「相互の送客につなげる」と。	その他	クルーズの発着が多い特長を持つ横浜港や東海道新幹線が停車する新横浜駅等を生かし、横浜の魅力と国内各地の魅力をかけ合せ、相互送客につなげます。
197	戦略1	「デジタル技術を活用したマーケティングの強化により、誘客ターゲット」に対する「プロモーションの展開」とは、何を指すのか。ターゲットを絞り、デジタル技術を活用したマーケティング/プロモーションを展開する。つまりSNSの活用ですね。（こんなことのために2ページも割くんだ）	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
198	戦略1	「観光都市横浜の認知向上」のための「国際園芸博覧会」!? 当市の政策立案者には、「横浜の認知向上」策として花博しかないのか。 花博「を契機として」、横浜に「誘客促進を図(り)」、「会期中の来場者の市内回遊・宿泊を促進」は、自家撞着ではないのか。	その他	国際園芸博覧会をひとつの契機として、観光都市横浜の認知向上と誘客促進を図ります。
199	戦略1	「デジタル技術の活用」「デジタルプロモーション」により、「現状分析」「旅行トレンド予測」等「マーケティング機能を強化」するのか。「バーチャルで横浜観光を体験」すれば、“リアル横浜”に来ずとも満足する人（潜在的横浜来訪者）が増える。事実コロナ最悪時、あらゆる意味で海外旅行が困難となり、バーチャル“空間”で観光を楽しむということがあった。これを考えれば、いまコロナが収束に向かいつつある中でも、バーチャルさえあれば旅行の満足が得られる…。デジタルの進展・活用は二律背反であろう。	その他	デジタル技術を活用することで、現状分析や旅行トレンド予測などマーケティングの強化につなげていきます。また、バーチャルでの横浜体験により、現実世界での来訪意欲につなげていきます。
200	戦略1	「最先端のデジタル技術を活用」し、「観光案内、交通・宿泊等の予約・決済、混雑回避や移動・周遊の円滑化等」により、旅行者の利便性を高める— この理想に異論はない。しかし、「音楽やエンターテインメント、スポーツ等にデジタル技術を掛け合わせてコンテンツの充実を図り、回遊性の向上につなげる」とは、どのような経路をとれば「回遊性向上」につながるのか、不可思議とせざるを得ない。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
201	戦略1	山下埠頭には国際機関や研究機関の誘致や防砂拠点、金融センターの整備、それらを一括で収容したランドマークタワーを凌駕しかつデザイン性のある超高層ビルの誘致。	参考	山下ふ頭については本戦略とは別に、これまでにいただいた御意見や御提案を踏まえ、新たな事業計画策定に向け、山下ふ頭再開発検討委員会にてまちづくりの方向性や導入機能などについて検討を進めています。今回いただいた御意見は、事業計画案の策定に向けて、本市での参考とさせていただきます。
202	戦略1	「まちづくり」という視点が触れられていることは大変意味があると考えますが、「ウォークアブル」という視点一つとっても、より具体的に、歩行者天国、公開空地の活用、自転車専用道路などについて言及があると戦略の目指す方向が分かりやすくなると思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
203	戦略1	「まちづくり」において観光振興のための規制緩和を積極的に行っていくことに言及すべき。本観光MICE戦略を実効性のあるものにするためには、都市計画、建築行政、道路行政など関する既存規制を緩和する必要がある。しかし無秩序な緩和とならないためにも、本観光MICE戦略を位置づけるべきと考えます。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
204	戦略1	回遊性について触れているが、拠点間をどうつないで、回遊性を持たせるのかといったモビリティの在り方の視点が弱い。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
205	戦略1	滞在日数を伸ばすためには、何日滞在しても飽きない、何度来ても飽きないまちづくりを目指す必要があり、そのためには個々の拠点の魅力の引き上げもさることながら、何よりも拠点間をストレスなく回遊できる環境を整備することが重要である。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
206	戦略1	花博についても、臨海部との回遊性をどうするのかといった根本的なインフラ整備などは市が責任を持ってやるべきである。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
207	戦略1	魅力づくりに関する議論の中に、「快適性」や「リラクゼーション」のような視点が感じられない。「リゾート」というのであれば、楽しさだけでなく、居心地の良さの追求も重要であると考えます。	包含・賛同	今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
208	戦略1	「まちの魅力や価値を高め、発信する」とあるが、中を見ると「発信」の話に終始しており、「まちの魅力や価値を高める」ための策に関する記載が無い。発信も大事だが「まちの魅力や価値を高める」ことはより大事だと思う。	包含・賛同	まちの魅力や価値を高めることは、DXによる滞在環境の更なる向上で記載しています。発信先や発信方法を拡充することでまちの魅力や価値を更に高めていきます。
209	戦略1	横浜市内には、臨海部や横浜駅中心部以外にも、上大岡周辺、野毛、横浜西口、本牧など東京にはない魅力的な資源がたくさんあるので、そこにも視線を向けるべきである。	包含・賛同	今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
210	戦略2	横浜では、国際的な会議やイベントなど、国境を越えた交流が非常に盛んに行われています。私自身もそういった認識をしていたのですが、それを推進する様々な取組の中でも、「アフターコンベンションの充実」というキーワードに興味を持ちました。ただ会議を行うためだけに横浜に来てもらうのではなく、横浜という土地を様々な視点で楽しんでもらうという取組は、とても面白い発想であると非常に感心しました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
211	戦略2	横浜の魅力であるウォーターフロントや歴史・文化についてのアピールや、グローバルMICE都市としての取組は良いと思う。しかし、グローバルMICE都市という言葉自体を初めて知ったり、海外の認知度も北海道や東京に比べて低いのが現状であるため、魅力が多くあることは分かるが、それを多くの人に伝える手段を工夫する必要があると思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
212	戦略2	MICE開催時は、もっと幅広い市民も参加するべきだと思います。同じ研究機関の同じ人たちが話し合っても新しいものは生まれません。まずは幅広い層に参加してもらうことが大事だと思います。新しい意見が出ると思います。そのためCMや簡単にわかるころに参加費無料!MICE開催!駅チカ!のような、告知をして認知させ参加を促せば良いと思います。MICE自体にブランド価値を見出そうとしているズレた考えがあるんじゃないか、開催することに満足していないか、ということ考えたほうが良いと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
213	戦略2	日本人にとっては「横浜」は大都会としてポピュラーでもアジアの他国の人や欧米の人にとってはそこまで知名度が高いわけではないと学んだため、横浜の特長を生かして、アジアを代表するグローバルMICE都市としての競争力を強化し、経済効果の高い中大型の国際会議や医学会議、ビジネスイベント等の戦略的な誘致を加速するというのはとても重要なことだと考えました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
214	戦略2	化石燃料に依存しないジェネレーターの整備、水素燃料を基本とした都市交通の整備、水素バス・水素ライトレールの整備。米国シアトルを例とした、通年で国際的なイベントを開催する企画の実施。英語対応が可能を基本とする観光ガイドの配置。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
215	戦略2	「最先端の技術・情報・研究者と子どもや若者が触れ合う機会を提供する次世代育成を進めるため、市内教育機関との連携や次世代育成プログラムを提供します」については、子どもに技術だけでなく、差別しない、偏見を持たない、といったことも教えられるようにしてください。技術を身につけても、外国人差別をする大人にならないように育成をお願いします。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
216	戦略2	パシフィック横浜の立地上の強みとして、「コンパクトシティとしてのまちの特長を生か(す)」と説明している。この「意見書」冒頭で、「観光版コンパクトシティ」と批判したが、市当局も"トリクルダウン"の装置としての「コンパクトシティ」を認めている。グローバル企業・グローバルブランドホテル等の集積、パシフィック横浜ノースの特長を生かした企業ミーティング、インセンティブ旅行等新たなビジネスイベント創出に取組む一とはまさに、「コンパクトシティ」「ワンストップ」の表明だ。	その他	MICE誘致においては、良好なアクセスや会議開催に必要な施設が徒歩圏内に集積している点等、主催者に評価されるポイントを訴求する必要がありますが、あわせて参加者の回遊性向上に取組んでまいります。
217	戦略2	観光はともかく、MICEは郊外部への経済的波及が小さい。せめて「インセンティブプログラムの拡充による競争力の更なる強化」(P34)でアイデアを凝らした「プログラム」を出し続けられない限り、郊外部への誘客・"トリクルダウン"さえ期待できないのではないのか。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
218	戦略2	「MICE参加者の回遊性向上」として、「県域における多様な観光資源」の記述以外、都心臨海部のみを前提とした考えしか示されていない。横浜市の施策である以上、郊外部も含めた市全体に目を向けるべきである。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
219	戦略2	「MICE」の開催には波動性があり、予測不能な点が多い。これをいかに克服/平準化、「見える化」を図るか市の実力が問われる。	その他	MICEの誘致を継続的に進めるとともに、MICEの開催効果を市民の皆様が実感できるように取組んでまいります。
220	戦略2	MICE都市というが、どのようなMICEを誘致したいのかによって観光戦略も変わるので、ビジョンを明確にすべき。	参考	本戦略に基づき、経済効果の高い中大型の国際会議や国内医学会議等の誘致を推進していきます。
221	戦略3	DXの推進により観光の生産性を向上させる取組が紹介されたが、私はデジタルを活用し地域が流通を含めて主導権を握る形の観光を目指すべきなのではないか考えた。他国の旅行会社を介さずにアクティビティや宿泊を提供し、広告やプロモーションを直販で行うことが可能となれば、この流通も経ずに集客することができ、より大きなインバウンド効果が期待できると考えたためである。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
222	戦略3	現在の日本では、地産地消を掲げている地域が多く存在するが、私を含め多くの人々がどのような活動を行っているのかわからないように感じた。また、生産者や中央卸売市場と市内飲食店をマッチングさせるという政策がありますが、そのような活動を知っているのは、農家や卸売市場の人が多く、その活動を行っている飲食店の存在をあまり知らない一般人が多いため、飲食店を全面的に支援、広報していくことが必要であると思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
223	戦略3	観光・MICEを支える人材を充実させるために、周辺の大学や企業、研究機関が連携し、お互いの知識・技術を持って交流する拠点を創出すると書かれている。 私は、この点について市内の中学校・高校と連携することが必要だと考える。確かに、中学生・高校生は知識や技術をあまり持っていないかもしれない。しかし、「横浜市観光・MICE戦略」は今から7年後の2030年で観光消費額5000億円に達することを目標としている。つまり、数年後の大学生・社会人が観光・MICEについて関心を持つようにしなければ、少子化が進む時代の中で観光産業の担い手が少なくなり、目標を達成するのが難しくなる。 したがって、目標達成のために、中学校・高校との連携が必要だと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
224	戦略3	市内経済の活性化と人材の充実において、地域内経済循環の強化の取組は、その地域の特産物などをPRするきっかけになり、市内の様々な企業がこれらに興味を持つことで、地産地消などが活発になることで地域内の経済循環の活性化を図ることができる。また、これを機に市外への販路拡大や横浜の観光の拡大にもつながり、その地域に魅力を感じて定住を考える人も出てくる可能性があることから、さらなる経済効果だけでなく、定住人口の増加を期待することができるので、積極的に取り組んでいくべきだと思う。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
225	戦略3	私が思う市内経済の活性化は、特定の地の発展ではなく、色んな箇所での発展を支えることが重要だと思う。例えば、横浜やみなとみらいは、十分発展しているため、人が集まりやすい傾向にある。そこに力を注いでも増える量というのは極わずかだと思っている。このことから、栄えていないところに力を注ぐのがいいと思っている。例えば、主要な駅ではないところに話題性のあるテーマパークなどを建設するなど、お客が一部に殺到しないようにすれば、地域住民にも負担はかからず、横浜市内への観光客を増やせる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
226	戦略3	「市内経済の活性化と人材の充実」について、私は非常に賛成の立場である。この戦略は、横浜市の経済を活性化させるために非常に有望だと考える。多様な企業や研究機関が特定の産業クラスターを形成し、共同でビジネスを展開することにより、関連企業が集結し、相乗効果を生み出す可能性が高い。例えば、テクノロジーやバイオテクノロジークラスターの形成によって新たなビジネスチャンスが生まれるであろう。 さらに、この戦略によって単一の主要産業に依存せず、異なる産業が共存することで、経済のリスクを分散化できるだろう。景気の低迷が特定の産業に影響を与えた場合でも、他の産業が市内の雇用と経済活動を支える可能性が高まると考える。 この戦略は地域経済の持続的な成長と発展に向けた重要な一歩であり、横浜市にとって明るい未来を築くための優れたアプローチであると考えている。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
227	戦略3	各事業者が観光コンテンツを造成しても、結局は組み合わせでより魅力を増幅させ、販売のプロも交えてブラッシュアップする必要がありますと思います。顧客を持っている旅行会社、媒体を持っている会社などの民間事業者についてもより活用してほしいです。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
228	戦略3	「観光・MICEを支える人材の充実」に関しては、横浜市民が就職支援により観光等で働きやすくなるようにしてください。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
229	戦略3	「観光・MICE関連データやビジネス情報」を事業者間で共有するところがあるが、共有するに越したことはないが、同情報はMICE施設の企業秘密に該当するのではないかと。また、当然MICE主催団体/PCOの個人・企業・団体の情報が含まれるであろう。個人情報保護法等が存在し、そんな簡単に共有できるものではないのではないかと。	参考	法令を遵守し、取組を進めていきます。
230	戦略3	MICE開催の「繁閑差の縮小」「需要の平準化の促進」をどのように図るかが問題。解決策として、「平日利用を促す割引クーポンなど」(P33)の平凡な提示しかないし、「横浜らしさ」がまったく見えない。この点、「夜」と「朝」について、内容はともかく「夜も朝も楽しめるコンテンツ」(P9、P30)として、「解決策」を例示している。これに相当する年間の繁閑差を埋める策を早期に講じてもらいたい。	包含・賛同	観光における繁閑差の対策として、冬季閑散期の地域との連携を取組事例にあげています。
231	戦略3	「地産地消、横浜市・神奈川県産品の利用、中央卸売市場の活用、産業観光～」などは、MICE開催によるトリクルダウンの典型だ。これがホントに起こることを期待する。	参考	MICEのみならず、レジャー観光においても実現できるよう、進めていきます。
232	戦略3	地域内経済循環の強化という視点は最も重要といえるが、観光MICEを支える産業の定義がなく、どの産業を育成していくのかについての整理が必要である。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
233	戦略3	はじめに「DX」の話が出てくることに違和感がある。経済波及効果を高めるためには、観光産業、MICE産業を支える産業がどれだけ充実しているかということが重要であるが、その点に関する記載はほとんど見られない。観光産業、MICE産業と他産業とのつながりを意識し、産業連携表という「移入」の割合を低く抑えるための産業政策が必要だと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、地域内調達についても本戦略に基づき進めていきます。
234	戦略3	観光産業を育てるという点では、観光に携わる人々の処遇を改善していくような視点が大切である。	包含・賛同	今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
235	戦略3	今、最も不足が顕著な「スタッフ」「作業員」のところに視点が向いていないのはいかがか。生産年齢人口の減少が見込まれる中、労働力の需給は今後も逼迫が続くと思われるが、ホテルなどの現場スタッフや、バス運転士やタクシードライバーなどをどのように確保していくか、企業努力に依存するだけでは難しいことが明らかになりつつある中、行政としてしっかりとした戦略を持ち、施策を展開することは極めて重要と考える。外国人材の取り込みなども視野を広げて検討すべき。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
236	戦略4	持続可能な観光・MICEの推進のところで、地域の活性化のために地域が一体となっていくことはとても良い試みだと思います。それぞれの視点でしか分からないような地域の持つ魅力や諸課題を一つに凝縮することで、仮にトラブルが発生した場合にもそれぞれの分野を駆使し迅速に対応出来るかと思います。しかし、今の若い世代は、ニーズがすぐに変わってしまったり、興味を持っていた対象に飽きてしまうなどの傾向が見られるためその都度、似たようなイベントや取組でなく全く新しい試みを、継続して変え続けなくてはならないと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
237	戦略4	横浜市という都市は、世界的にも持続可能な社会、SDGsを掲げている都市として、知られている。 また、観光地としても知られ海外からの来客も多い、さらには大きな大学もあり様々な地域からくる人も多い。社会人に関してもベッタウンや働く場所として機能しており、そこに住む人も多く感じられる。ここから思うのは、住んではいるものの横浜という場所を詳しく知らない人が多いと暮らして感じて。都会、綺麗、住むのに慣れる、ビジネス、その観点からの人がいて、横浜市というブランドに知らないうちに酔って、活用できていない人もいると感じる。外からの人を呼ぶという行為も市のためであるとは思いますが、まだそれに埋もれているような大学生、これから横浜市を支えるような人材に対して広めていくのも地域密着というのでありなのではないかと思う。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
238	戦略4	私はいろいろな戦略がある中で持続可能であることが重要であると考えました。例えば、予想外の災害があった時のためにどのようにして対策をするのが大切であり、そこで対策や対処が不完全であると観光のためにせつ々の作り上げてきたことも意味がなくなってしまうと思いました。また、環境的に持続できるのかという点も大切だと思いました。地球温暖化など世界的に持続可能な社会が求められており、その課題を踏まえて考えていくことが大切だと思いました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
239	戦略4	既に記載されているが、横浜には港があり、コロナ禍も落ち着いた今、港に立ち寄るクルーズ船が横浜に立ち寄った際に、より気軽に横浜・みなとみらいエリアを観光できるように、バスや電車などの交通機関を無料若しくは値引きした価格で使えるようにしたり、船が発着する際には、スポットに外国語を話せるスタッフを配置しておくなど、外国人向けにも気軽に観光が行える環境を作り上げる。また日本人向けには、他県から来たことが分かる人には一部サービスなど、日本人・外国人ともに今まで以上に訪れやすいエリアを目指すといふと考える。	参考	交通局では客船入港の際に、ふ頭と桜木町駅などの乗下船客の送迎を行うシャトルバスを運行し、港からのアクセス強化を図っています。なお、連節バス「ベイサイドブルー」や観光スポット周遊バス「あかいくつ」を運行することで、都心臨海部の回遊性と利便性、魅力のさらなる向上を図っています。 御意見の趣旨も参考に、今後、各種施策を推進していきます。
240	戦略4	観光業は地域に多大な影響を及ぼすので、自分は持続可能性を重視すべきだと思いました。環境への配慮、地元コミュニティへの貢献、質の高い観光サービスの提供など、持続可能な観光の実現に向けた戦略を立てる必要があると考えました。また人と地域との連携だけでなくイベントと連携が重要であり、国際的なイベントへの参加や新たな協力関係の構築を通じて、市の知名度とビジネス観光を促進する取組を立てるべきかと考えました。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
241	戦略4	まず、第一に環境への配慮が進んだ観光地は、持続的な観光産業の発展につながります。環境への配慮とは、CO2削減や廃棄物の適切な処理など、地球環境に負荷をかけないような取組を指します。観光客は環境への意識が高まっており、持続可能な観光地を選びたいと考える人が増えています。持続可能な観光地づくりを基本姿勢とし、観光客数の増加を目標とすることが重要だと思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
242	戦略4	持続可能なMICEの中の地域との一体となった推進体制の強化は非常に良いと感じた。何故ならば現在様々な自治体が衰退していく中で地域や民間企業などと協力関係をとり地域や民間企業として自治体の3組が力を合わせたところは持続可能な街づくりができていく傾向にある。また、今は横浜市は民間との協働ができていていると感じるが、地域との関わりが少し少ないと感じる。私の住む磯子区は私自身が住んでいて地域のみんなでなにかしようということが少なかった。よってもっと市民に目を向けることが大切と感じた。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
243	戦略4	近年注目されているSDGsの達成に向けて、横浜市は再生可能エネルギーを活用したイルミネーションをしたプラスチックごみや食品ロスの削減に向けた取組を行ったりしていることを知り、世界全体での取組を率先して行っていくことは非常に重要なことだと考える。実際、訪日外国人旅行者の中でもサステナブルな取組を重視している人がとても多かったため、環境資源の保全に配慮するとともに、そのような外国人のニーズに応じていくことが大切だと考える。そのため、今後もSDGsに配慮した取組を横浜市の魅力を引き出しながら行っていくのがよいと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
244	戦略4	自分は元々神奈川県藤沢市の出身なんですが、横浜に行き毎回思うことが、すごい綺麗で楽しい市と思うんです。それは、色んな県や国の人からしても魅力的で横浜のすごいところだと自分は思いました。それで自分はその綺麗さ、楽しさを継続していければ、観光目的で来た人たちもずっといられるのかなと思います。それを継続するのは横浜市の人だけではなく、自分や違う市の人たちの協力などをして、みんなで意見を言い合ったりすれば、継続して観光などがしやすくなると思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
245	戦略4	DMOが地域のけん引役となり、観光・MICE事業者や大学、研究機関、金融機関、地元団体など、幅広い関係者が参画する体制を強化し、地域一体となって観光・MICEを推進する。横浜市という、大都市において、数多く開催されるイベントや、観光に対して、DMOを中心に、横浜市の歴史や文化から、市民に情報発信していくことが大切であると感じた。また、旅行者などへのサービスも充実させる必要があると感じた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
246	戦略4	横浜市の観光・MICE戦略は、都市の国際的な認知度や経済的活性化を目指すものと思われる。魅力ある観光コンテンツの創出は横浜の歴史や文化を活かす重要なステップで、MICEの戦略的誘致は国際的ブランド強化のキーとなる。しかし、観光の増加は地域の文化や環境の保護を考慮する必要がある。また、地元住民や関連産業との連携は戦略実現の鍵と考える。この戦略の成功は、持続可能な観光と地域との協力にかかっていると感じる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
247	戦略4	旅行者の安心安全に関して、災害情報の発信と記述がありますが、観光客は災害情報を受け取ってもどうして良いかわからないと思います。そこで、災害情報の発信に加えてどう避難するか避難ツールまで踏み込んで記述すると良いと考えます。幸い横浜には、「横浜市避難ナビ」というアプリが存在します。行政と連携してこのアプリの多言語化を図り、避難ツールを用いて横浜市内の国内観光客や外国人観光客が災害時にも安心安全に過ごせる仕組みがありますと記述すべきと考えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後も施策を推進していきます。
248	戦略4	「DMOが観光・MICE関連データ等のデジタルプラットフォームを構築」については、そんな簡単に共有できるものではないのではないかと。	参考	御意見の趣旨も参考に、法令の範囲内での取組を進めていきます。
249	戦略4	「市民参加型イベントや市民ボランティア」(P37)、「シビックプライドの醸成」「観光・MICEへの市民参加」など、市当局やDMOなどは、市民を「都合のいい」無償の労働力、「体のいい」イベントの「引立て役」としてしか見ていないのではないかと。	その他	市民の皆様にとって、観光・MICEの振興が横浜の発展に寄与していると実感できるよう取り組んでいきます。
250	戦略4	「国費の積極的な活用」等で、「安定的かつ持続的な財源を確保」して「DMOの安定的な運営につなげる」と説明するが、「国費」が得られるならば、①郊外部の観光誘客に、②「観光・MICE」にこそ優先的に直接、投資すべきであろう。	参考	御意見の趣旨も参考に、国費をはじめとした多様な財源を確保し、適切に活用していきます。
251	戦略4	「障害者、高齢者、子育て層等、誰もが快適に滞在できるユニバーサルデザイン導入促進や、心のバリアフリーセミナー実施、施設やイベントでの情報保障の強化」(P38)は、まったく異論はない。しかし、この理念と「観光・MICE戦略」とが如何につながるのかが不明。ただし、「誰もが快適に滞在できる～」の記述は、「誰もが快適に《生活》できる～」のほうが重要ではないだろうか。	その他	ご指摘の取組は、戦略4でお示ししている、誰もが安全安心かつ快適に旅行を楽しめるユニバーサルツーリズムを実現する事例として記載しており、「滞在」としました。
252	戦略4	「歴史的建造物等へのデジタル技術を活用した修繕の実施やアーカイブ化等の促進」(P38)についてもまったく賛成である。が、これもこの理念と「観光・MICE戦略」とが如何につながるのかが不明のまま。	その他	歴史的建造物等のデジタルアーカイブ化により、文化の継承発展や誘客プロモーション等につなげていきます。
253	戦略4	SDGs (P39) は、「17の目標」掲げる前提として「誰一人置き去りにしないために」があるはず。前述のとおり本「素案」の根本は、市内資源の一極集中による「都心臨海部」最優先。残りの地域・郊外部は、運が良ければトリクルダウンが期待できるかもしれない、というもの。これで「横浜の観光・MICEにおいてもSDGsに資する取組を積極的に実施」「横浜市は「SDGs未来都市」などと言えるのだろうか。	その他	本戦略は、横浜市全域を対象に、観光・MICEの取組の方向性を示しています。地域ならではの観光資源を生かしながら、市内各所と連動した魅力づくりを進めます。
254	戦略4	既存市街地での日常生活との整合性を図り、オーバーツーリズム対策なども観光戦略として位置付ける必要がある。	包含・賛同	今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
255	戦略4	観光振興自体がSDGs達成と相反しやすいため、両立できるような観光の施策を目指す必要がある。	包含・賛同	今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
256	戦略4	「地域一体となった推進体制の強化」においてDMO登録されたYCVBの役割について記載されているが、DMOの役割は、観光に関する方針づくりに始まり具体的な施策の実行など、今後横浜観光についてはYCVBが中心的存在であることをより明確にすべきと考える。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
257	戦略4	「地域一体となった推進体制の強化」は「DMOを核とする推進体制の強化」とする方が良いのではないかと。	参考	本項は地域の多様な主体が一体となって推進していくことを表現しているため、「地域一体となった推進体制の強化」としています。
258	戦略4	今回の観光MICE戦略の中で、唯一新しい取組はYCVBのDMO登録であり、ここについてもっと発信をすべきである。神奈川県DMOとの連携の取組なども発信すべきである。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
259	戦略4	市、YCVB、民間のやるべきことを整理して、明確にすべきである。	修正	御意見の趣旨を踏まえ、表現を修正しました。
260	2023～2025年度の取組事例	コンサートやエンターテインメントは様々な層が楽しめるものです。その中で飲食店や商業施設、宿泊施設が協力して盛り上げることで戦略4であった市民と一体となることに繋がります。SDGsの人種や民族、宗教、障害の有無に関わらず、高齢者や子育てファミリー層も含め誰もが安心安全かつ快適に楽しめる場合は、事例2のようなものがとても良いです。また市民の方向けのイベントだけではなく、コンサートなどを行うことで、そのファンが全国から集まり、よりその地域を活性化させることができます。	包含・賛同	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
261	2023～2025年度の取組事例	2023～2025年度の取組事例で、羽田空港等との航路の充実の検討による海・河川のクルーズの充実が挙げられていたがこれについては早期に実現できれば良いと考えた。理由は、羽田空港に到着後直接クルーズ船で横浜に行くことが出来るようになれば、鉄道やバスでの移動とは違った視点から横浜を眺めることが可能になり、横浜へ向かう交通手段が増えるだけでなく、大きな話題となることは確実にさらなる観光客の呼び込みが期待できるからである。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
262	2023～2025年度の取組事例	近未来的なロープウェイが桜木町駅前から横浜ワールドポーターズ前を直結するように運営されているが、今後は移動する拠点の拡大や、新たにウォークアルで移動できる土地を作ることで有名な観光名所のみならず、公園や広場などの公共空間やみどりから少し離れた横浜中華街、また横浜スタジアムまで足を運ぶことができるようになり、これまで知らなかった土地の新たな魅力発見や収益源の創出、横浜市全体の経済効果に繋がると考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
263	2023～2025年度の取組事例	私は取組事例の夜も朝も楽しめるまちづくりを推したい。目指す姿としては若者から高齢者まで幅広い年代層が夜も朝も外に出てリフレッシュしたいと思えるようなまちづくりを目指す。基本姿勢としては、ショッピングセンターや飲食店などの営業時間を延ばしたり、夜間に力を入れるための夜間専用で営業する店を作ったり、また、朝ではスポーツジムやランニングコースなどをつくらせたり、朝から優雅に過ごせるゆったりとしたカフェを作ったりすることである。目標としては、コロナ禍もあり、中々外出をしなくなってしまった人々が外出しても十分に楽しめるようなまちづくりを行う。顧客ターゲットは若者と高齢者である。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
264	2023～2025年度の取組事例	地域の魅力向上や誘客プロモーションなど、横浜市を観光地として盛り上げる取組が多いことが一番印象に残りました。このような取組により観光客が増加することで、自分の暮らしている地域の魅力が上がり、経済活動が活性化するため、市民にとっても良い取組だと感じました。しかし、多様な観光客の増加は横浜市で暮らす人々にとって、デメリットもあるのではないかと感じました。特に気になったのは施設や公共交通機関についてです。普段から横浜市の店や施設、交通機関を利用している市民からすると、観光客の増加による混雑などから不便を感じる人も少なくはないのではないかと感じました。そのため、横浜市が観光地として発展すると同時に、市民の人が安心安全に暮らすことができるような取組が必要であると考えました。	参考	御意見を踏まえて、市民生活と調和した観光・MICEを推進していきます。
265	2023～2025年度の取組事例	朝から夜まで消費者側もそうではない側も人が集まり、そのあたりの活性化につながるのではないと思う反面、夜まで楽しめる、の夜までが何時ごろまでにされるのが気になる場所でした。夜になればなるほど人のテンションのタガがお酒や脳疲労等から外れ治安維持に差し支えることが起きる可能性は多くなり、事件、事故等が増えるのではないかと、またそれをいかに抑え、安定した治安を維持するかが大切になると考えた。実際に警察がその場にいることで治安維持がなされるかといえば多少の安心感や監視の目があるという緊張感があり効果があるように思えるが楽しむ場場でそれが常に脳裏にあるのは楽しむことの邪魔をすことと苦情が入る可能性も考えられるので無法地帯にならないように、けれど嫌な感じのしない場を作ることの難しさがあると思う。	参考	御意見を踏まえて、今後の取組を進めています。
266	2023～2025年度の取組事例	スポーツ・ウェルネスによるにぎわい創出の取組の1つであるライブビューイングは、私も野球観戦の際に何度か利用したことがあったため、とても身近な活動であるということを実感した。また、横浜は野球やサッカーをはじめとした多くのスポーツのプロチームが存在することから、それらの団体と連携した活動は地域の活性化につながるかと考えた。取組事例4については、現状道路構造などの影響で危険な箇所も多いため、まずは自転車通行帯の整備を行うことが、歩行者、自転車、自動車、すべての立場において快適になると考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
267	2023～2025年度の取組事例	観光・MICE戦略の取組事例の移動そのものが楽しめるまちづくりは、特に、関内・関外地区での歩行者ネットワークの整備や、歩行者や自転車の通行空間拡張の検討は、事故が起こりにくくなるなどの安全性の強化や、景観がより美しくなることにより、該当地域の観光客増加に非常に効果的な取組と考えています。また、該当地域だけでなく横浜市全体の景観・安全性の評価向上にもつながると考えており、観光MICEを超えての横浜市の知名度や評判が向上する、素晴らしいものになると考えています。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
268	2023～2025年度の取組事例	取組事例2の「音楽・エンターテインメントによるにぎわい創出」に関する取組はとても顕著に表れていると思いました。私は、横浜市外に住んでおり横浜へは通学を通して利用することが一番多いのですが、大学生ということもあり、飲み会やイベントに参加することがよくあります。最近では、横浜赤レンガ倉庫で開催された横浜OKTOBERFESTにも参加しましたが音楽や飲食店などを含め人々に活気があって楽しかったです。特に今年の夏に見たみなとみらいの花火大会はとても綺麗で感動しました。地元では味わえない賑やかな雰囲気や横浜ならではの取組なのだと思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
269	2023～2025年度の取組事例	私はこの取組に非常に肯定的な感想を抱いた。横浜市は様々な観光資源(施設やイベントなど)があるが、宿泊して楽しむほどの魅力を感じにくく、1日で観光しようと思えばある程度できてしまうという場所だと思っている。首都圏だからという理由もあるのだろうが、観光として楽しめるまちが密集していることも、1日で各地を回りやすくなっており、宿泊客が少ない理由になっていると思う。そこで、近隣連携を行うことで、宿泊客を増やすことができると考える。近隣のエリアと一緒に横浜を観光してもらうことで、物理的に1日だけでは観光しきれないという状況を作り、宿泊客の増加が期待できる。これにより横浜の魅力がさらに深くまで知ることができ、近隣地域も一緒にまちづくりを行うことができ、横浜市のみならずエリア一体となって盛り上げていくことができる。まちづくり・まちおこしは一つの市だけの問題ではなく、様々な地域の問題である。これを協力して行うことは非常に良いことだと感じた。具体的な取組として、民間とも連携を行い、市をまたいだツアーの構築、近隣地域を結ぶ交通手段の充実(エリア間1日乗り放題など)を図ることが必要ではないかと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
270	2023～2025年度の取組事例	取組事例がたくさんあり、その中でも横浜スタジアムでのイベントや、横浜の郊外部でのイベントなど、横浜市の魅力や特徴にあった取組が多いのがとても良いなと思いました。また、SDGsや、広域連携、誘客プロモーションの強化など将来性があるものがあることで、2025年度以降も引き続き取り組むことができたり、新しいMICEにおける取組ができると思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
271	2023～2025年度の取組事例	「夜も朝も楽しめるまちづくり」について、ウォーターフロントといった横浜市の地形の魅力を利用したイベントや景観での取組は、他県からの観光客を呼び寄せる取組であると感じた。観光客でにぎわうことで街が活気にあふれ、明るく住み心地の良い街になると思った。一方で夜も満喫したくなる街を目指すことで、歩出く人の増加による治安問題やごみの拾い捨てなどの課題が出てくるのではないだろうか考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
272	2023～2025年度の取組事例	朝も夜も楽しめる街作りということで、朝食やナイトクルージングなど、様々なことが楽しめるようにしていくのはすごく良いことだと思います。しかし、朝と夜の2つ以外にも、日中のお昼時など、朝と夜の中間の時間帯も楽しめるような取組をした方がよいと思います。人がよく活動する時間帯でもあるので、その時間帯でもっと横浜を楽しむことが出来れば、よりたくさんの方が楽しめるようになるのではないかと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
273	2023～2025年度の取組事例	横浜がさらに活性化していくには中華街などといった観光地があるだけでは継続して観光客を呼ぶのは限界があると私は考えます。その中でも横浜の強みの一つとしてサッカー、野球、バスケットなど人気を持ったスポーツチームが揃っているということです。ここに力を入れてスポーツの盛り上がりだけでなく大きくなれば注目度が上がり、横浜の発展につながると思うので、スポーツ・ウェルネスによる賑わい創出には力を入れると良いと考えます。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
274	2023～2025年度の取組事例	私は高校時代野球を部活動としてやっていた、スポーツに関連する横浜市取組事例についてすごく興味を持っています。また、今現在桜木町にある居酒屋でバイトをしていて、横浜スタジアムがすごく近いのですが、試合がある日などは横浜ベイスターズを使ったイベントを企画してみんなで一緒に見て儲けるということをしています。さらにJRAも近くにあり土日は競馬のお客さんが来るように宣伝して働いています。それによって私の店だけでなく街全体のことをこの人にも知ってもらえて嬉しいところから足を運んでくれる客もいるのでとてもいいことだと思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
275	2023～2025年度の取組事例	観光客を呼び込んだとき、移動手段があまり充実していない場合、渋滞や混雑が起これば観光客にとってもその地域に住む住民にとっても負担となってしまいます。観光をする上で移動時間は切り離すことができないものであり、また外国人にとって日本の移動手段に慣れ親しんでいるわけではないため、通行空間の拡充だけでなくレンタサイクルの施設や乗り合いタクシーを整備するなど移動手段の工夫をすることで移動手段の拡充や移動時間そのものの満足度を上げることに繋がると考えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
276	2023～2025年度の取組事例	音楽、エンターテイメントによるにぎわい創出はとても良いと思うが、一月でも休むと売上が落ちるから全ての月で実施した方がよいと思う。今、赤レンガ倉庫の隣でやっているオクトーバーフェストのように、イベントがあるときは活気があり、様々な人が集まり夜まで楽しんでいる。クリスマスや、ハロウィンなどイベントがある月は楽だが5月などイベントが何にもない月も何か考え、実施することができれば定期的に横浜に人を呼ぶことができ、活気のある街になると思う。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
277	2023～2025年度の取組事例	私は特に、スポーツ・ウェルネスによるにぎわい創出について着眼しました。横浜市には、野球、サッカー、バスケットボールをはじめとしたプロスポーツチームが多数あります。これは横浜市だからこそ数多くプロスポーツチームがあるわけであり、横浜市のプロスポーツチームを更に発展させることによって横浜市の更なる活性化につながると思うからです。何かをきっかけにして、一度プロスポーツチームの試合を観戦してもらい、横浜市民、横浜市民以外の人の中からファンが増えることにより私は更なる横浜市の活性化につながると思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
278	2023～2025年度の取組事例	横浜は港もあり、交通の便でも様々な所と電車が通っており子供連れの家族や、老若男女幅広い人が訪れることから、飲食店やホテルなどの街全体を活用しながらのイベントなどにとても向いていると思います。写真スポットなどを作ることで若い人も人気が出てSNSなどで話題となりやすく、港の花火大会などのイベントでは子供連れやおじいちゃんおばあちゃんなどと一緒に来るには最適な場所だと思います。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
279	2023～2025年度の取組事例	夜も満喫したくなるまちづくりとしてウォーターフロントを生かしたマーケット、イルミネーション、ナイトクルージング、ナイトツアーなどがあげられていた。また、営業時間の延長も推進されており、夜にも活動しやすくするには良い取組だと考えた。しかし、夜の活動を推進するのであれば、防犯にも力を入れる必要がある。店の営業時間を延長するのは良いが、限度をある程度提示しておかないと賑わいが喧騒に変わり、近隣住民に迷惑がかかる。新しく人を集めることだけ考えるのではなく、今そこにいる人のことも考えて取り組む必要があると考えた。朝から出かけたくなるまちづくりはとても良いと思った。出勤や登校などで朝早くから出かける人にとって、朝から活気にあふれたまちというのは過ごしやすいと考えた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
280	2023～2025年度の取組事例	やはり、今後も横浜市が観光の場として選ばれていくためには、年寄りの支持も必要だとは思いますが、やはり若者の支持が欠かせないと思います。自分自身まだ若いのである程度若者としての意見が分かるのですが、若者は綺麗な景色であったり、唯一無二のものが好きだと思います。この資料の中にもありましたが、クルーの宿泊プランを強化したり、カップル向けに記念日などにも選びやすいスポットを提供するなど現代に合った政策が出来ているなど感じました。横浜市の魅力を全面的に押し出して頑張っている姿勢に中々胸を打たれました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
281	2023～2025年度の取組事例	コロナが以前と比べて落ちてきてお店の営業時間の延長の推進等による滞在環境の整備やナイトクルージング、ナイトツアーの拡充、ウォーターフロントを生かしたマーケットの定期開催や、まちぐるみでのイルミネーションの展開などにより夜も満喫したくなるまちへ変わっていった。また、朝からウォーターフロントでのランニング等のスポーツ・ウェルネス環境の向上により運動する人も増えている印象にある。コロナ自粛から少し落ち着いたときに横浜が楽しめるようにイベント主催者や飲食店、商業施設、宿泊施設等の多様な主体の連携があったり、多くの人が足を運んでくれて、来てくれた人の意見をもらったことで、楽しいと思えるまちづくりになったと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。引き続き、施策を推進していきます。
282	2023～2025年度の取組事例	私が考える横浜の魅力として挙げられるのは、景色とショッピングの充実さだと感じる。しかし、それ以外の、遊園地などの楽しめる場所が少ないようにも感じる。そのため、現在ある魅力に加えディズニーランドやユニバーサルスタジオ、富士急ハイランドに匹敵するほどの魅力的なテーマパークが出来たら、今の何倍も横浜に魅力を感じて観光客の数と満足度を増やすことが出来ると考えている。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
283	2023～2025年度の取組事例	まずこの事例の目的はスポーツイベントなどを通して、飲食や宿泊、商業施設などが連携して新しいものを生み出すというのが目的である。2022、2023はサッカーW杯やWBC、ラグビーW杯などが行われ、今までにないほどに日本のスポーツ熱が高まった。そのため、以前までは行われていなかった選手の出待ちや商業施設や飲食店などでのパブリックビューイングなどが積極的に行われた。以上のことからこのような事例を取り組むに当たってはこれ以上ないほど最高のタイミングだと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
284	2023～2025年度の取組事例	朝も夜も楽しめるまちづくりは、とてもいい案だと感じた。朝は、運動してから朝食もとることが出来、横浜ならではの朝食を食べることが出来るため、観光者も日帰りではなく、泊まりで訪れるのではないかと考える。しかし、最近流行りてきている、ヨガや体操をするための施設を整える、地元の人にも想定している以上の人々が利用しにくくするのはと考える。夜については、イルミネーションやナイトツアーも企画しているため、幅広い世代の人達が利用しにくく考えられるため、いい案だと考える。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
285	2023～2025年度の取組事例	私は取組事例4の移動そのものが楽しめるまちづくりについて、とても素晴らしい事案だと思います。ウォークパルで巡ること自体を楽しめる魅力の創出や多様なモビリティの充実等による回遊性の向上という点で、とても良いと考えたのですが、桜木町駅から運河パークまで結ぶロープウェイについてです。来たときに一緒に乗ることになったのですが、若者には少し手の出しづらい値段だと思います。	その他	YOKOHAMA AIR CABINについては、民間企業が運営しています。
286	2023～2025年度の取組事例	私は、関内にある飲食店でアルバイトをしています。横浜スタジアムでの試合がある日の賑わいには毎回驚かされます。街中にスポーツファンが集まり、その日は突出した売上になります。従って、スポーツには観光客の増加と多大なる経済効果の見込みがあるといえます。特に現在では、スポーツ観戦のあり方としてライブビューイングなどが流行になりつつあるため、飲食店や商業施設などとイベントが連携することは非常に効果的であると考えます。また、ライブビューイングアリーナをはじめとした、新たな観戦の方法の創出は新鮮であり、私はとても魅力的な方策であると考えます。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
287	2023～2025年度の取組事例	私が思う横浜の魅力として挙げられる点は、みなとみらいなどの景色やショッピングが充実している点だと感じる。横浜にディズニーランドやUSJなどに匹敵する新しいテーマパークができれば、地域の魅力が向上し、観光客の数も増えると思う。また、テーマパークは地域経済にもプラスの影響を与えることがあり、横浜の文化や歴史を取り入れたテーマパークなら、なお観光体験が一段深まると考えられる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
288	2023～2025年度の取組事例	横浜には、さまざまな地域独自のイベントがあったり、横浜開港の伝統的な歴史があるので、それらを積極的にアピールしていくことが、多様性あふれる魅力に繋がっていくのではないかと考えた。また都心臨海部の魅力づくりは、横浜の歴史だけでなく、今の横浜の魅力、例えば、中華街や山下公園などの観光スポットを大いにアピールし、満足度を向上させる良い魅力だと感じた。横浜は家族で楽しめる場所として最適な場所だと考えられるので、その点をもっとアピールするのも良い考えだと感じた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
289	2023～2025年度の取組事例	横浜市が音楽とエンターテインメントの分野で目指す姿は、魅力的なエンターテインメントの都市としての確立です。音楽イベントやエンターテインメントが市のアイデンティティの一部として認知され、国内外から多くの訪問者を引き寄せる姿を目指すべきです。音楽とエンターテインメントを重要な観光資源と位置づけ、その振興に積極的な姿勢をとるべきです。アーティストやエンターテイナーの支援、音楽フェスティバルやエンターテインメントイベントの促進、多様な音楽文化の尊重など、基本姿勢を強調すべきです。音楽とエンターテインメント分野での目標は、年間のイベント数や観光収益の増加、国際的な認知度の向上など、具体的に数値的に測定可能な目標を設定するべきです。音楽とエンターテインメントを楽しむ幅広い層を誘客ターゲットとして考えるべきです。国内外の音楽ファン、家族連れ、若者、エンターテインメント愛好者など、異なるターゲット層に対応したプログラムやイベントを提供することが大切です。音楽とエンターテインメントの振興に向けた戦略として、国際的なアーティストの招聘、地元才能の発掘と育成、イベント施設の整備、プロモーション戦略の強化などが考えられます。また、地元コミュニティとの協力や文化交流を推進し、地域経済と観光産業の発展に寄与する戦略が必要です。音楽とエンターテインメントの分野での振興は、横浜市の観光業と地域経済に大きな潜在力を秘めています。そのため、適切な戦略の実行が成功につながるでしょう。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
290	2023～2025年度の取組事例	スポーツ・ウェルネスによるにぎわい創出についての意見としては横浜ではたくさんのスポーツの大会など開かれて賑わっているイメージがあるため大会やイベントにちなんだ出店などしたらより観光地としてより良い場所になると考える。筆頭はやはりプロ野球である。横浜スタジアムがあることでシーズン中は毎週のように試合があって多くの人が訪れる。横浜スタジアムに向かう途中などで立ち寄り行きたくなる街並みにすれば安定した集客も得られる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
291	2023～2025年度の取組事例	横浜市観光・MICE戦略における横浜市の目的や取組は、世界から選ばれるアーバンリゾートに向けてという視点から、とても合理的なものであると感じた。特に、「音楽・エンターテインメントによる賑わいの創出」「スポーツ・ウェルネスによる賑わいの創出」「移動そのものが楽しめるまちづくり」という点においては、施設の建設や設備が徹底され、旅行者満足度が向上されたのに加え、市民の満足度も向上していると感じた。しかし、世界からの視点でみれば、横浜はまだまだ注目度が低いという点から、行政と市民が協力して情報を発信していく必要があると感じた。つまり、横浜市の目指す姿や目標、取組はしっかりと行われているので、それらの取組を話題にあげて地域全体から盛り上げる必要があると感じた。横浜市はこれを徹底することで、世界に選ばれるアーバンリゾートになる。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
292	2023～2025年度の取組事例	私は取組事例5の地域ならではの魅力向上について取組次第では、観光地として人気になると考えた。私は親子を対象とした観光バスツアーをやれば良いと考えた。普段東京などにいる人は自然等に触れる機会がなく、リフレッシュできる。また、親子で行けば思い出に残りやすく、子供の時に好きだった場所は将来住みたくなるようないい印象を受けると考えた。また、他の親子同士でのコミュニケーションも生まれ評判が良くなり、人が集まりやすいと考えた。歴史、自然、動物園、水族館などを回れば一日中楽しめる素晴らしいバスツアーのように地域の特徴を活かしていけばいいと思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
293	2023～2025年度の取組事例	この事例では新横浜エリアの競技場やアリーナなどの大型集客施設で開催されるイベントの前後の回遊促進をするところである。大型のイベントでは、全国各地から人が集まるため、新横浜エリアの観光施設や娯楽施設を増やすことで誘客を促進できると考える。そうすることによって、イベントの他にも目的を持って横浜に来てもらい、滞在の延長や飲食店などの経済の活性化に繋がると思う。新横浜エリアの再開発をより進めることによって、誘客を促進できると考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
294	2023～2025年度の取組事例	観光していく中で移動というものは時間がかかり、なんの変哲もないものだととても退屈してしまうものであります。この取組はつい退屈してしまうような移動も観光の一つとして取り入れており、ロープウェイや歩行者にも感動を与えられる花や緑、海と施設との爽快感抜群な景色など人の心を掴んでいるのでとても素晴らしいと思います。車の方でも横浜ベイブリッジといった綺麗な大きな橋がかかっており、移動している全ての人を思っていると感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
295	2023～2025年度の取組事例	2023-2025年度の取組事例について、その中でも自分がとても良いと感じたのは移動そのものが楽しめるまちづくりである。自分は桜木町にあるロープウェイに実際に乗ったことがあるのだが、横浜の綺麗な景色を眺めながら、その下を歩いて楽しむのは全く違う気持ちで横浜の景色を満喫することができた。このような取組は東京とかでは経験することのできない横浜独自の素晴らしいものであると感じた。他のまちにはない活動というのは、多くの人から注目を浴びたり、興味を持たせることができるため、より良いまちを作っていくことが可能になると思う。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
296	2023～2025年度の取組事例	これらの取組事例においては横浜市における時間・土地・環境を最大限活用し、魅力を伝えていくことが可能となるのとともに、それらの事例がうまくいくことによってさらに横浜市の価値上昇や、様々な国・企業などの参入も見込めるのではないかと考えた。また、取組事例の4にもあるような移動そのものが楽しめるまちづくりにおいて移動を楽しめるようにするのはもちろんのこと、それを目当てに観光する人の獲得や、横浜市における少々不便な場所をも観光しやすくすることにより、観光客の増加だけではなく、地元に住む人々においても魅力の再発見をすることが可能となり、それを人伝いに広めていくことも可能であるのではないかと考えることができた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
297	2023～2025年度の取組事例	夜にナイトクルージングやライトアップが行われていることによって外国人観光客を呼び寄せる効果があり、また営業時間を延長させることによってより集客がしやすいのではないだろうか。横浜という大きな町が多くの施設と連携をしているからこそできることであり、歴史ある「横浜」という街だからこそ個性豊かな人が集まる街に発展していったのだと感じた。夜に限らず朝方限定のイベントを行うことで、健康管理のためのウォーキングやランニングをしている人々を呼び寄せる効果があることに私は興味を抱いた。海風や夜とはまた違った横浜の朝を感じながらランニングなどを行う人は多いだろう。それを狙い目としてイベントを企画する取組は今後の横浜をより良い街にしていけるだろうと私は感じた。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
298	2023～2025年度の取組事例	素寒では、横浜の課題について、冬の観光客の低さが挙げられた。そこで私は、観光客に対して、箱根の魅力を発信し、そのあと、横浜に宿泊してもらうことで、横浜の観光客の宿泊率を上げられるのではないかと考えた。冬は、寒いので、暖かい箱根温泉を組み込んだツアーや観光ルートを作り掲載するよいのではないかと考える。また、横浜は美術館や、体験型ミュージアムの認知度が低いと考える。冬の寒い時期には、このような室内で楽しめる施設を認知してもらうことで、家族連れの観光客もターゲットにすることができると考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。



No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
299	2023～2025年度の取組事例	広域連携、具体的に、鎌倉、三浦、箱根、東京等と連携して、エリア全体を集合し、横浜を拠点とした宿泊に繋げるということの実施についてである。 1泊2日の周回ツアーといったものを開催していくことが良いと考える。具体的には、箱根温泉を体験し、鎌倉で歴史を楽しみ、三浦でまぐろを食べて、みなどみらいを散策していくといったものである。そして、このツアーに参加する場合の宿泊料は、横浜で格安に宿泊ができるといったようなものにするなどで、横浜に宿泊者が増えるのではないかと考える。 次に、横浜と東京との連携についてである。具体的に、午前中、東京で観光をして、午後、横浜で観光をして、宿泊を東京よりも安いイメージのある横浜で行ってもらえば良いのではないかと考える。そして、みなどみらいの海の夜景を楽しんでもらえるような形にすれば、より多くの人に横浜に宿泊してもらえるのではないかと考える。また、東京とは異なる横浜という街を多くの人に知ってもらえるのではないかと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
300	2023～2025年度の取組事例	横浜駅前やみなどみらい、中華街などでは多くの観光客を見かける。中には外国人観光客も多く、これは誘客プロモーションがうまくいっていることの表れだと思うが、観光客に対してマナーに関する啓発も併せて行うべきだと考える。中華街では食べ歩きをした後の容器が道路に捨てられていたり、駅前でも空き缶やたばこが落ちている場面を見かける。もちろんすべてが観光客のせいではなく、全体に向けた周知が必要であるが、特に外国人観光客には、日本での常識を知らないという人もいるのではないかと。プロモーションを行う中で、トラブル解消のためのガイドランスも併せて行うことが必要だと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
301	2023～2025年度の取組事例	大学生は、時間を気にせず遊べる年齢である。しかし、横浜で夜から朝まで遊ぼうといっても遊べるところがない。夜どこか行くとすると、東京や千葉の方に行くことがほとんどである。千葉には大慶園があり、東京には、お台場がある。横浜といえば、中華街やみなどみらいがある。それは、昼に賑わっているだけである。よって、横浜にも、夜でも遊べるスポットが必要であると考える。そうすることで、より横浜の魅力が増えていくと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
302	2023～2025年度の取組事例	取組事例の幅広さや横浜の良さを生かした事例、そして事例の多さに感心している。視覚的にしっかりと事例を確認できるものが多く、市民も一体となって完成されていることが良いと思う。また、横浜の新しい魅力を引き出せるきっかけにもなるのだと思う。地域外の人だけでなく、横浜に今住んでいる人たちも関わることがよい。これをきっかけに、関わりたいと思う人が増え、そして支える側や作る側が増えたとより良い事例が増えるのかなと思う。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
303	2023～2025年度の取組事例	横浜は、全国、世界から見ても有名な都市であり人気があるので横浜市の魅力を更に増やしていくべきだと思う。また、野球やサッカー、バスケットなどのスポーツ、音楽イベントやライブも盛んであり、スポーツ観戦のためであったり、ライブを見にくるために横浜へ訪れてくる人は少ないと思うので、地方から訪れてきた人たちの、ニーズに合わせた宿泊施設の配置であったり、スポーツ観戦やイベント以外の時間でも楽しめる空間を創ってあげれば、これまでよりも魅力あるまちになり、全国、世界から人が寄ってくるまちになると思う。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
304	2023～2025年度の取組事例	横浜の強みである数々の歴史を使ったり文化や横浜ならではのイベントなどで体験価値を高めることを目指す具体的な戦略は多くの方が喜ぶと思う。最先端の技術で感動を与えることでSNSで話題に上り、価値がさらに上がり、相乗効果が見込める。しかし、多くの人に来ることによって交通の便や人が密集しやすくなるため、対策が必要になると考える。コンサート、エンターテインメント、アートで子供から大人まで楽しく遊べるイベントなどは家庭を持っている家族はすぐ行きやすい。経済効果で次のイベントが呼びやすくなる。しかし、密集することでコロナや最近流行しているインフルエンザなど感染症対策を怠らないようにしないとダメだと考える。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
305	2023～2025年度の取組事例	横浜市の取組に触れ、私自身の体験から、移動そのものが楽しめるまちづくりに感銘を受けました。特に横浜市のみなどみらいエリアは、歩行者専用の道路や美しい遊歩道が整備されており、自然を活かした魅力的な場所となっています。上京してきた際、その美しさに感動しました。また、ロープウェイなどの施設だけでなく、移動中にも楽しめる要素が充実しており、移動に伴うストレスが大幅に軽減されることを実感しました。このストレスの少ない環境は、地元住民だけでなく、観光客にとっても魅力的で、再訪したいと思わせるであろうと考えられます。以上の理由から、このような取組は非常に素晴らしいものだと感じました。	包含・賛同	御賛同いただきありがとうございます。今後とも、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
306	2023～2025年度の取組事例	横浜は港や歴史、自然を感じられる素敵な街で、東京にはないポテンシャルがあると思いますが、横浜といえばこれ！という強力なコンテンツがないように感じます。幅広い人を惹きつけられるように重層的に取り組むことは必要だと思いますが、ぜひメリハリをつけて、横浜を代表するような強力なコンテンツづくりにも期待しています。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
307	2023～2025年度の取組事例	横浜は夜が早いと思います。お店が閉まるのもとても早いです。ぜひ夜の滞在も楽しめる街になってほしいです。	包含・賛同	今後、本戦略に基づき、施策を推進していきます。
308	その他	中区にある寿町も無視しないでほしいと思います。	その他	直接、本戦略に関する内容ではありませんが、御意見として受け止めさせていただきます。
309	その他	全体を通して子ども・若者の文脈が薄いように感じました。	参考	子どもも大人も安心して楽しめる環境を整えていきます。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
310	その他	やはり、新型コロナウイルスが蔓延したことによって、観光客が激減しているなかでこの四つのことにフォーカスして改善していくのは大事だと思う。横浜に観光客を呼び込むためには、認知度を上げることが重要だと思う。目指す姿、基本姿勢、目標この部分に関しては賛成できる部分はある、しかし誘客ターゲットにおいて、もうひとつ追加しても良いと思う。それは、地方人だ。確かに観光客のほとんどは地方から来る人が多い。しかし、地方から来た人へのサービスというのがほとんどない。やはり関東圏には東京という大きな都市がある。その中で地方人の獲得のためには地方人に対するサービスを多くすることが必要だと思った。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
311	その他	この中で紹介されていたのが桜木町と運河パークを繋ぐロープウェイである。観光客には人気な一方でロープウェイを使わなくてもこの間は徒歩で10分もかからない。そのため横浜市民の友人からは税金の無駄遣いだといった意見を聞いた。今回、市民が直接意見を言う機会を作っているパブリックコメントがあることを知ったのだが反対意見は無かったのか気になった。またそのパブリックコメントの存在を横浜市民が認知しているのかも気になった。この時は同年代の友人の意見を聞いただけだったが、違う年代の人も全員が賛成していたとは思えない。	その他	YOKOHAMA AIR CABINについては、民間企業により建設・運営しています。
312	その他	横浜には基本的にはなんでもありと考えています。そのため、企業が集う街、自然豊かな街、観光として訪れる街、市民が住みやすい街など、それぞれいいところがあるのが横浜市だと考えています。しかし、伊勢佐木町など少し治安が悪いような場所や汚いところが見えます。そのような街も改善できるところはしていった方がいいのではないかと考えます。キャッチが多かったり、ゴミが落ちていたり、路上で人が寝ていたり、ホームレスの溜まり場にもなっているように見えます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
313	その他	目指す姿として、国内だけではなく国外の都市との優れた交通アクセスを持っている横浜は、国際的な観光やイベントの拠点として発展すべきだと考える。基本姿勢として、横浜市は都市であると同時に歴史的側面が多くある。そのため、国外からの観光客や仕事でやって来る外国人を広く受け入れるとともに、地元住民など地域社会と連携することで持続可能な観光を促進するべきである。目標については、一過性ではなく、長期的な視点で変わりゆく横浜の姿を多様な観光体験を通して感じてもらう。国際的な大会やイベントの開催地として誘致を行うことで国際的な観光都市としての地位を確立することを目標とする。誘客ターゲットは幅広く渡るように設定すべきである。老若男女、広い年齢層の観光客が集まるために、地域社会と協力することで横浜の歴史的な魅力を活かすことができるのではないかと考える。また、日本ならではのイベントを開催するなど、若者にとってもより魅力的なプログラムを提供するべきである。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
314	その他	目標に対して様々な観点からの確かな戦略を立てているところに視野の広さを感じた。ただ、根底的な問題であるからという理由があるかもしれないが、治安について言及するものがないのが気になった。快適に楽しめるような様々なサービスを充実させることは確かに町の賑わいに繋がるし、誘客ターゲットを絞ったうえで彼らが心惹かれるようなプロモーションを細かく考えていることから、これからも横浜の交流人口は増え続けるだろうと思う。しかし、交流人口の増加とともに犯罪件数も増加することが予想される。横浜は現在、人口に対して犯罪の件数が低い市であることから、治安維持のためにとっている現在の手法が良いということが予想されるが、交流人口の増加によって犯罪や思わぬ事故が十分に考えられる。区ごとに犯罪率が大きく異なり、所謂治安の悪い区とそうでない区がはっきりしてしまっていることも問題だと思う。そこを改善する、またはこれからさらに悪化しないようきちんと対策する必要があるのではないかと。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
315	その他	横浜市は子供から大人までが楽しめるまちであり、イベントも充実している。そのため、横浜市のポテンシャルを活かし、多くの人を呼び込みにぎわい、経済的にも充実させる。また、国際的な観光都市なので、観光やビジネスイベントとしても魅力的な場所です。よって、横浜市に国内外から、観光客や、ビジネス関係者を引き寄せ、地域経済を活性化することができます。地域経済を活性化することによって、大きなイベントに繋げることができ、地元の小売業やサービス業にも利益をもたらすことができます。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
316	その他	生まれ育った横浜がより魅力ある都市になっていくのは嬉しいことです。しかし、エリアによる『棲み分け』を無視した街づくり計画があるのも見受けられます。例えばみなとみらい線の駅を例に挙げざっと分けてみますと、 商業施設などが中心のにぎわいエリア＝横浜駅、みなとみらい駅、馬車道駅 飲食店が多いエリア＝横浜駅、みなとみらい駅、馬車道駅、元町・中華街駅 公園など緑が多くて散歩にいいエリア＝新高島駅、日本大通り駅 という感じになるでしょうか。 現在、馬車道駅と日本大通り駅の間位置する海岸通りの日本郵船ビルの建替え工事が始まっており、ここに高層ビルが建設されます。この辺りはMM線沿線の中でも比較的静かに生活ができるエリアなので『にぎわい』は求めておりません。こういった都市計画の担当者はおそらく地元の人たちではなく、愛着がないために静かなエリアにわざわざ人の流れを増やすようなことをするのだろうと思いました。横浜のことを本当に考えるならば、旧き良きものは大切に遺しつつ、新しい試みも積極的に行うことをバランスよく計画し、棲み分けを考えてほしいと思います。	参考	御意見の趣旨も参考に、市民生活と調和した観光・MICEの実現に向け、施策を推進していきます。
317	その他	横浜市は前市長の時代から観光、マイス、イノベーションと言ってきましたが、その成果はどうでしょう。私にはPFIで、パシフィック横浜。さらにパシフィック横浜ノースを作る。カハラリゾートホテルに補助金。横浜文化体育館の再整備事業、Kアリーナに60億の補助金。箱物づくり優先。大手ゼネコンと癒着。中身が伴っていない。どの都市でもマイス戦略は行っており横浜市がアジアの中心になれるとは思えない。例えば、スタートアップ事業なら、福岡市は市長が先頭に立ってやっているが。現市長は、掛け声だけ。レン活に、見られるように、非常に推し。もう、箱物事業はたくさん。借金だらけ。市民の暮らしを大切にしない。人口は増えません。	参考	市政への御意見として受け止めます。
318	その他	まず、パブコメとは案を広く市民に知らせなければいけません。そしてカジノ誘致に見られるように市民の意見を無視しています。横浜市のパブコメは条例に反しています。コンプライアンス意識が低い横浜市に同意して、ともに目指すことはできません。観光、マイス、イノベーションは、前市長時代から、やっていますが、PFIで、パシフィック横浜。更にノース。カハラリゾートホテルに補助金。横浜文体再整備事業。Kアリーナに60億円。大型施設建築が先行。中身がありません。観光マイス戦略は、他都市も行っており、とても横浜市がアジアの中心になれるとは思えません。スタートアップ事業もレン活に見られように、ずさん。稚拙。例えば、福岡市では市長が先頭に立ち、行っていますが、現市長は飾りです。横浜市の借金をこれ以上、増やして、市民を不安にさせないでください。税金は横浜市が勝手に使っているものではないはず。人口は増えません。	参考	市政への御意見として受け止めます。
319	その他	横浜といえばほとんどの方はみなとみらい地区をイメージし本パンフレットでもその写真が掲載されています。しかし、横浜をアピールするにはあまりに局所し過ぎ横浜市内周辺を押し出すことが必要と考えます。アピールすべき拠点として1) 新横浜地区、2) 金沢・鳥浜臨海地区、3) 川崎・鶴見臨海地区、4) 瀬谷・ズーラシア周辺地区があげられます。その中で1) 新横浜地区を重要視します。新横浜地区では、東海道新幹線をはじめ東急電鉄から東横線、横浜市営地下鉄、相鉄線などの鉄道をはじめ羽田空港からの高速バスなどアクセスは向上しており、日産スタジアム・横浜アリーナ・新横浜ラーメン博物館などの施設はあるものの周遊して楽しめるまでに至っていません。そこで、歴史的に目を引く小机城址を観光の目玉にできないかということ。現在は緑地公園化しており城址の面影は薄い一部お濠らしきものも残っている。名古屋では、鉄筋コンクリートの名古屋城を木造に建て替える旨の方向を示唆されていますが突断と評価します。横浜市でも木造建築としての小机城の復元を期待します。もともと小机城は小ぶりの建築物とっており、現在の建築技術では耐震・防火などの基準をクリアできると考えられるのでその実現を望みます。それにより、新横浜地区への集客ならびに滞在時間増が望めることでしょう。	参考	御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
320	その他	『花博について』上瀬谷の自然を壊さないで下さい。中区や西区などでいわゆるフラワーフェスティバルを開催しているので上瀬谷でやる必要性を感じられない。みなとみらいなどアクセスがよく大勢集まる場所で開催すべきです。花博開催時期は後半、酷暑の7、8月にあたります。野外イベントは自粛した方がいいです。来場者や会場で働く人たちへの思いやりが大切です。熱中症などで何かあれば主催者側の責任が問われます。以上、よろしくお願ひします。	参考	国際園芸博覧会をひとつの機会と捉え、観光振興を図ってきます。また博覧会開催にあたっては安全に十分配慮して実施します。
321	その他	カジノ/IRのときも、花博も、その他の事業全てにおいて、いつも市民が置き去りにされている。市長や副市長、市議員らの思うようなまちづくりがされ、市民の意見は聞いたふりだけをして取り入れられない。「選挙で選ばれた」からといって、カジノの時の某市議や、花博だけに全力を注いでいる某市議など、不適切と思わざるを得ない議員が数名いる。市民意見に対して、「できません。ご理解ください。」ではなく、少しは歩み寄り姿勢を持ったらどうでしょうか。今回の市民意見募集も市民に広く公表し、「このような理由により取り入れられない」など、1つ1つに合った回答をしてください。	参考	市民意見募集の実施手法及びいただいた御意見への対応に関する御意見として、参考にさせていただきます。
322	その他	山下ふ頭ワークショップで市民から出た意見にはどのようなものがあり、何を取り入れて何を却下したのかを明示してほしい。何のために何度もワークショップを開催したのか。参加した市民は真剣に考えた人も多くいるだろう。そのアイデアを広く公表してください。	その他	これまでの市民意見募集等の結果や山下ふ頭再開検討委員会につきましては、以下のホームページに掲載していますので、よろしければご覧ください。 <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkion/keikaku/yamashita/yamashita.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkion/keikaku/yamashita/yamashita.html</a>

No.	項目	御意見	対応分類	御意見に対する考え方
323	その他	横浜の魅力は青い海と青い空と豊かな緑である。首都圏では珍しい希少生物の生息地である上瀬谷はコンクリートで埋めるのではなく、今そこにある緑を主役とした花博を開催していただきたいし、その跡地を利用するテーマパークはできたら中止にして欲しい。(そもそも花博も中止にして頂きたい) 自然は破壊したら戻らないのだから。同じ意味で山下ふ頭の開発はハコモノではなく、海と空の素晴らしさを伝えるものであって欲しい。「何も作らない」という選択があることを今一度思い出して欲しい。	参考	国際園芸博覧会をひとつの機会と捉え、観光振興を図ってきます。また、開催後も郊外部の新たな活性化拠点として、地域ならではの魅力の向上を図ります。 山下ふ頭については本戦略とは別に、これまでいただいた御意見や御提案を踏まえ、新たな事業計画策定に向け、山下ふ頭再開発検討委員会にてまちづくりの方向性や導入機能などについて検討を進めています。今回いただいた御意見は、事業計画案の策定に向けて、本市での参考とさせていただきます。
324	その他	国際園芸博覧会においては、土地区画整理事業、公園事業、国際園芸博覧会事業の3つの事業の説明会がそれぞれ別々に行われたが、いずれも「それは〇〇事業のほうで検討」などと責任逃れをする発言が目立った。なぜ3事業全て合同での説明会をやらないのか。本当に横浜市のやることは意味が分かりません。	その他	直接、本戦略に関する内容ではありませんが、御意見として受け止め、担当部署へ情報共有をさせていただきます。
325	その他	芸術・文化にも力を入れて取り組んでいただきたい(スポーツや音楽に偏り過ぎない)。イベント情報などはもっと横浜市民にもわかりやすくPRして、市民の参加をもっと促していただきたい。	参考	本戦略においては、芸術・文化も観光資源の重要な要素であると捉えています。イベント情報においても芸術文化情報を積極的に提供していくなど、御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。
326	その他	市内にある芸術文化団体への支援策をお考えいただけるといいかと思います。市内にも良質な公演等企画をしている団体はあります。東京アーツカウンシルの例を見ると、横浜は大型なもの、著名なものの、目が向いているように感じます。	参考	本戦略においては、芸術・文化も観光資源の重要な要素であると捉えています。市内の芸術文化団体に対しては、小規模なプロジェクトに対する公募型の補助金も含め、様々な形での支援を行っています。御意見の趣旨も参考に、今後、施策を推進していきます。